

# 令和5年度岐阜県小中学校教頭会研修総会 アンケート結果(令和5年7月11日)

1. 義務教育総括監 香田静夫様のメッセージ「みんなでがんばろう！教頭先生。」を視聴した感想をお書きください。

- 日々の学校での勤務で、慌ただしく過ぎていく毎日ですが、学校教育を取り巻く様々な状況をつかみ、先生方に伝え、児童のために笑顔で取り組もうと改めて感じたお話でした。ありがとうございました。
- 学校現場で次々と発生している課題、問題に対して、岐阜県としてどのような取組を進めているか、という内容がよく伝わってきた。その中から自校で実践できる部分、例えば、若手教員への支援やいじめ事案の対応、一人一人を大切に指導やぎふ命の教育などは、改めて自分の意識を強く持つ機会となった。
- ご講話ありがとうございました。本校では、不登校が大変多いことが課題となっております。魅力ある学校づくりを目指して、先生方と力を合わせて実践を行っていきたいです。若手の職員が多いためその熱意に応えられるように日々私自身も先生方と学んでいきたいと考えています。SCとの懇談を希望する生徒が大変多い現状があります。さらにSCの配置を手厚くしていただきますと教員の負担軽減にもつながりますし、生徒にとってもプラスとなります。どうぞよろしく願います。本日は、ご多用の中ありがとうございました。
- 学校の矛盾に日々対応していますが、毎日頭を悩ませています。悩ませています。ありがたいことに先生方は一生懸命に働かれますし、子どもたちと真摯に向き合ってくださいありがとうございます。香田先生のおっしゃりたいいくつかの視点を頭に入れながらこれからも問題に当たっていかうと思えます。また、本日本校ではPTA主催の『いのちの授業』を行っています。いのちの教育については引き続き推進していかなければならないと思っています。本日は私たち教頭を励まし、応援していただきありがとうございました。ありがとうございます。明日からの活力が湧いてきました。ありがとうございました。
- 時間外勤務時間短縮に取り組む一方で、教員の資質向上、生徒指導対応といったことでの両立が難しい点でのお話がとても参考になりました。
- どんな状況であれ、生徒たちのこと、職員のこと、考えれば自分ができると、やらなければならないことはあります。あらためて職員室の担任、管理職という立場の重要性を認識しました。子どもたちは予測困難な時代を生き抜いていく、そのために…と考えますが、自分たち職員も同じであると思えます。横の関係、縦の関係、そのなかで共通理解、合意形成をはかり少しずつでも進めていきたいと思えます。励ましていただいた、という気持ちになりました。ありがとうございました。
- 教育現場には、課題が山積しています。運営をしていく私たちが、そういった問題に積極的に取り組むことが大切です。自校の課題となるkとについて、再度考えていく時間を生み出していかねばならないと痛感しました。「この学校に来てから、一日が早いです。」「よく笑いました」と今年度異動してきた先生から、話を聞くと嬉しくなります。さらによりよいものにしていかねばならないという力をいただきました。ありがとうございました。
- 様々な問題に対して、アイデアが出され施策として打ち出されていることがよく理解できました。しかし、それを自分が把握しきれていなかったことが認識できました。子ども達や教職員に関わる多種多様な問題に対応できるよう、学習と研修に努めなければと痛感した。
- わかりやすい話であり、やる気が増してきました。ありがとうございました。
- 学校の矛盾はいろいろありますが、1つ1つ対処していくのに精一杯で、なかなか方針や取組を見直していく、改善していく機会がないように思います。それらを考える良い機会となりましたが、実際に改善していく動きがどこまでできるかは不安です。一人一人を大切にする教育について、教員がアップデートしなければいけないことは多く、改善が必要です。ただ、担任の先生方は多くの児童を一生懸命見ていますが、対応すべきこと、やるべきことがやはり多いと思います。教員が何を工夫・改善すればよいか、まだまだできることはあると思いますが、抜本的な仕組みの改善も必要なのではないかと感じます。
- 働き方改革を進める中で、本校でも色々な会議や取組を削減してきました。その中で、子供たちの成長や、職員集団の共通理解にとって必要なものがだんだん見えてきたと感じています。必要なものはきちんと時間を取り、それ以外のところは大胆に減らしていくことが今後も必要であると思っています。そのためにもお話にもあったように組織として動ける体制づくりを今後も進めていきたいと思えます。そのことが、子供たちの指導や有事の対応にもつながることになると考えています。教頭として、子供たち一人一人、職員一人一人を大切に職場環境を生み出せるように努力したいと思えます。
- 学校の矛盾が少しでも解決し、これから先の人たちがやりがいを持って教員ができるように環境整備を続けていきたいと感じました。
- 普段から学校の現状と一般社会での通説みたいなものとの間に迷いや不安があったが、それが「矛盾」という言葉を聞き、納得しました。また、先生からのメッセージから、この矛盾をどうとらえ、解決の方向に向けるのかについて、見通しが持てました。不登校の対応については、他の職員との意見や思いの違いから不安や迷い、自信を無くすような思いもありましたが、「本当に一人一人を大切にしているか」ここにいつも立ち返り、判断することで、全職員が同じ方向で進めることができると再確認できました。子供一人一人の笑顔と成長を願い、全職員一緒に今日からまた頑張りたいという元気が出ました。現状が明確に示された資料と明るく元気な先生のお話のお陰です。
- タイトルに魅力を感じました。学校の矛盾に向き合う毎日です。しかし、知恵と勇気、そしてチーム力で矛盾を乗り越えることはできるという思いをもつことができました。教頭先生と共に働くことができ良かったと思ってもらえるよう努力します。ありがとうございました。
- 現代の学校を運営していくためには、さまざまなことに配慮をしていかねばならないことが分かりました。特に印象的だったことは、「多様な勤務形態」と「安定した指導体制」の両立です。1学級には1人の担任という固定概念があります。しかし、複数学級担任制は、多様な勤務形態にも対応できるし、担任による学級差も生まれないと感じました。現代の学校教育にとって1番良い方法を

想像力を働かせて考え、人材を活かしながら学校運営に取り組んでいきたいと思いました。本日はありがとうございました。

- ・日頃の生活の中で意識的に感じてはいなかったものの、難しさを感じるのはこのような矛盾があるからだということを確認に理解することができました。矛盾があることは前提として、アイデアを凝らして様々なことを進めることで、先生方だけでなく自分自身も元気に仕事に取り組める状況を作っていければと感じました。
- ・本校では校区で学校間連携を密にした様々な事業を展開し始めています。教員の指導力向上という視点で、小中学校職員が職員が合同で研修を行ったり、共同研究を行ったりすることにも取り組めるよう提案していきたいと感じました。がんばった人には、必ずいいことが必ずいいことがある。という言葉に前向きな気持ちになれました。ありがとうございました。
- ・「学校の矛盾を乗り越える」という言葉自体に、香田先生の温かさ、私たち教員を見守っていただける優しさなどのお人柄を感じました。「学校の矛盾」の3つの視点そのものと、その解決方法が大変勉強になりました。お忙しい中、本当にありがとうございました。
- ・自分たちが教諭として指導してきたものとは時代と共に大きく変わってきていることを実感しました。現在の社会、目の前の子どもや教職員の姿を見据え、その中で最適解を考え、実践していきたいと考えました。あなたがいてよかったと言われる教頭になりたいと思いました。
- ・実に様々な児童生徒がいる中で、私たちはひとり一人に合った教育を考えていくことが、ひとり一人を大切にすることににつながるのだということに改めて感じました。
- ・働き方改革のことがあるので、新規で研修を入れるのは難しい状況ですし、何を優先させるのかに悩むことは多く、資料を参考にさせていただき、校長と相談して決めていきたいと思いました。教頭として毎日、どうすればよいか悩んでいる内容にアドバイスをいただけてありがたいです。これからも頑張ろうとおもえました。
- ・今、日本の教育は過渡期にきており、これまでの画一的な指導など見直しやり直しをしていかなければと考えております。香田先生のお話をお聞きして、自分の考え方を常にアップデートしながら、目の前の課題に対応していきたいと思いました。ありがとうございました。
- ・様々な勤務体系が整備されて、一般教員の働き方改革はぜひぶん進んだと感じています。管理職が見届ける内容はその分増えてはいきますが、先生方が笑顔で生徒に向き合えるよう県や市と連携していきたいと思いました。
- ・現在、我々を取り巻く教育環境は、日々変わっていくが、それに対応していかなければならないと同時に、若い教員も育成しなければならぬ。私の教員生活も残りわずかであるが、総括監の演題にもあるように頑張らなければならない、また、最後に述べられているように教頭先生がいるから学校が楽しいと言ってもらえるようにしていきたいと思いました。ありがとうございました。
- ・国や県の現況と方針、現場に即したご指導、活用しやすいプレゼン資料がとてもありがたかったです。
- ・私たちを大切にいただきたながらも、変わりゆく状況にいかに対応していけばよいかを示唆していただきました。特に、多様な勤務形態と安定した指導体制の両立については、現任校の実状を踏まえても参考になりました。これまでの実践にとらわれず外部人材を活用するなどのアイデアを、自分自身も考えたいと思いました。また、時間割の工夫、週時程の見直しも進められそうだと感じました。「一人一人を真に大切にできる教育」についても、新たな視点で考えることができました。将来的な社会的自立に向けていかなければならないと実感しています。「ぎふいのちの教育」については、中津川市で行っている「命の

教育」を推進することを改めて大切にしようと感じています。本日はありがとうございました。

- ・何はともあれ、改めて「がんばろう」という意欲がわいてきました。喫緊の課題や改善しなければいけない点が本校にもあります。しかし、たいへんよい職員集団だと言えます。若手を中心に指導力向上に励んでいます。毎日、楽しい学校生活を送れることに感謝です。今の安定に満足することなく自分自身、向上心をもってがんばろうと思います。ありがとうございました。
- ・学校の矛盾を乗り越え、一人一人の☑に大切にできる教育を行っていかねばならない、自分にできることは何かを考え実践していきたいと思いました。
- ・今年も温かいメッセージありがとうございました。少しモヤモヤがとれました。いろんな課題があるなかで、優先順位をつけて取り組んでいるわけですが、どうしても孤独になってしまいます。若手、中堅の育成、ベテランの先生方を立てつつ日々何とか過ごしています。チームでと言われつつも時間にぼわれてしまい失敗することも多々あります。資料はじっくりと読んで今後役に立てていきたいと思えます。自分が気になることが多々まとめられて助かります。これからのことを考えて教育を見直していきます。今回もありがとうございました。
- ・講話の内容の一つは学校の矛盾についてでした。それは、どの学校も抱えている課題だと思います。教員の数が増えることで課題が減ると思います。
- ・学校の矛盾には、学校で解決できるもの(校内の矛盾)とそうでないもの(校外の、学校を取り巻く矛盾)があると思う。教頭としてそこを見極め、やりがいがあり疲弊することなく改善に取り組める矛盾を乗り越える取り組みをしていきたい。「不透明な未来を生き抜く」子どもたちにとって、参考になる身近な大人の代表となれるよう、生き生きした教師集団にしていきたい。
- ・「教頭先生の所に寄せられる矛盾」というタイトルがまさに現状を表していると感じた。矛盾する事柄をじっくり分析し、☑、何が必要なかを、校長先生の指示を仰ぎつつ、判断する役職なんだと改めて感じた。「教頭先生がいてくれてよかった」と言ってもらえるよう、頑張りたい。
- ・時代の変化とともに、学校にも様々な変化が求められるようになってきた。その中で、生徒一人一人、先生方一人一人を大切にしていくために教頭が果たす役割を考え直すことができた。チーム学校で、教頭同士のネットワークも生かしながら取り組んでいきたい。
- ・学校現場の状況や教職員の苦勞などを理解した上で、具体的な方途を含め、学校経営の最前線にいる先生方を支える立場にある管理職としての責任の重さを改めて感じた。けれど、管理職だけで改革、取り組もうとするのではなく、様々な立場にある先生方の意見を取り入れながら積極的な学校経営のサポートをしていかなければならないと感じた。大変勉強になった。ありがとうございました。
- ・様々な問題が横たわっていることを再認識した。ではどうしていったらよいかを考える一端になった。教師が不足している中だが、やはり適正はしっかり見極め教員の採用をしていくことは大切であると改めて感じた。
- ・まさに本題のテーマにある働き方改革とやるべき学校業務の間に立っているのがここ数年の私の気持ちです。本校にも小学校から転勤してきた4年目の先生が2人、直採講師が1人いますし、転勤してきた職員も含めると半数の職員が入れ替わりました。この4、5月は異動してきたばかりの私も含め、わからないことが多く、時間外勤務時間が多くなりました。6月になり他の職員も含め早く帰ることが早く帰ることができるようになってきました。やるべきこと、やらなければならぬことを見極め、職員指導をして行かなければと思っています。

- ・教員の指導力向上についての話にあった「OJT」「学校間連携」を大切にしたい。
- ・矛盾を解消するヒントをいただきました。ありがとうございました。
- ・学校の現場で矛盾で困っていることを事例を挙げて紹介されたが、まさにそこなんですよと言いたくなりました。香田先生がおっしゃるようにみんなで頑張っていくしかないことなので、多くの方に協力してもらいながらやろうと思いました。ありがとうございました。
- ・教頭としてすべきことがわかりました。
- ・学校の抱える様々な矛盾を乗り越えるための手立てを分かりやすく丁寧に教えていただきました。日々の忙しさの中で生徒と職員を大切にしていくなかで数々の取組がありますが、教職員の増員が喫緊の解決しなければならないことだと学校現場では感じているところです。職員が元気なことが何よりです。そのために何ができるのかを考えていきたいと思いました。
- ・香田先生がおっしゃる通り、学校には矛盾がたくさんありますが、常に児童生徒に軸足を置き、優先順位を決め、意見を出し合いながらより良い方法を模索していきたいと思いました。
- ・「矛盾」の中にいることを感じつつ、何をどのようにしていくことが職員や子どもたちにより良いのかを悩んでいたもので、いくつかのヒント・きっかけをいただきました。ありがとうございました。
- ・「がんばったひとにはかならずいいことがある」最後の言葉がとても響きました。自分のために頑張るのではなく、生徒、教職員のために、新しい教育観を吸収しながら日々取り組んでいきたいと強く感じた次第です。
- ・「やらねばならないこと」が山積していますが、これこそ一人で抱え込むことなく市のネットワーク、学校組織を活用しながら進めていこうと思います。ありがとうございました。
- ・学校の矛盾については日々様々なことに取り組んでいるが、やはり答えはない。保護者対応であっても中々難しく組織で対応していくしかない。これからも小さな積み重ねを大切にしていきたい。
- ・現場で起きている矛盾についてとその対応策についてお話いただきました。働き方改革、多様な勤務体系など、時間のない中でどうやってこれまでと等質もしくはそれ以上の教育をしていくのか、難しいと感じました。一教頭としては解決できないレベルの問題も含んでおり、正直、気が重くなりました。
- ・教頭に寄せられる学校の様々な矛盾に対して、支援体制や相談体制など、いかに組織を活用して課題解決を図るのかを具体的に紹介していただきました。本校においては、労務管理や並列した問題への対応などが求められる中で、教師の指導力の向上や児童生徒の社会的自立を図るための「ぎふ いのちの教育」の在り方について、さらに全体的な計画の見直しを図る必要があると感じました。ありがとうございました。
- ・教頭として受け止めなければならない多くの矛盾に対して、いかにうまくバランスをとっていくかが大切だと感じました。自分自身がバランスをとることに必死になるのではなく、俯瞰してみながら周りのバランスの取れる教頭になりたいと考えました。
- ・社会状況の変化に伴い、様々な難しい課題が出てきているが、子どもの笑顔に力をもらい、知恵と工夫でより子どもの力を伸ばす学校づくりを校長先生の指導の元、意欲をもって取り組みたいと感じた。
- ・様々な課題の解消、解決に向けて自校の実態を踏まえた実践のスタイルを考えていく必要があると感じた。時間と人をマネジメントするなかで柔軟な考え方と方法を見出したいと思った。
- ・講話にもあったように、学校には様々な矛盾があり、悩むことが多くある。最終的には管理職としての決断や判断が求められるのは分かっているが、その判断材料となる根拠や法令に対する知識が乏しいので、もっと研鑽を積みまなければならないと感じた。また、年々不登校傾向の児童生徒が増えている事実からも、学校では未然防止の観点からも学習保障やいじめの早期解決は職員が一丸となって取り組み続けていかなければならないと感じた。
- ・学校の矛盾を乗り越えるための工夫の手立てをいくつか示していただき、大変参考になりました。また、困り感を抱える児童生徒が増えている現在、一人一人を真に大切に教育の大切さを実感しました。教職の道に進む若者が増えるよう、教職の魅力を発信できるよう、自らも楽しく仕事をしていきたいと思えます。
- ・ご講話ありがとうございました。学校の矛盾の中にある「多様な勤務携帯」については、県や市町村が我々現場の実情を深く考え支援してくださっていることがよくわかりました。いくつかの矛盾に対する具体的な方途を紹介いただきましたので、今後の職員管理や児童生徒支援に生かしてまいります。わかりやすい動画・プレゼン資料ありがとうございました。
- ・香田義務教育総括監に置かれましては、日頃より温かい励ましの言葉をいただき、ありがとうございます。今年度のメッセージでは、実際に葛藤のある学校の矛盾について、お示しいただき、その解決に向けた視点や具体をいただきました。今後の学校運営、職員への指導等に生かしていきたいと思えます。ありがとうございました。
- ・ありがとうございました。力をいただきました。
- ・「学校の矛盾を乗り越えるための工夫」では、どれも実際に学校現場で感じている矛盾ばかりで、その矛盾を解決するための工夫について、詳しく教えていただき、大変ありがたかったです。取り入れられることから取り入れていきたいです。「一人一人を真に大切に教育」「これからの社会に必要な教育のあり方」については、子ども達一人一人を大切にしているかを常に振り返り、その時々々の社会情勢や目の前の子ども達の置かれている状況を考え、より深く一人一人に寄り添い、学習面や生活面での様々なサポートを私達が学び、一人一人にあったサポートをしていかなければならないと強く感じました。忙しさに追われるのではなく、児童も職員もみんなが楽しいと感じることが出来る学校づくりをめざして頑張っていきます。ありがとうございました。
- ・今年度より新任教頭として勤務しています。毎日様々な仕事をこなさなければならず大変ですが、やはり子どもの命を守ることが何よりも最優先ということ肝に銘じ、日々取り組んで参りたいと思いました。ありがとうございました。
- ・教頭として、先生方が笑顔で働けるように「働き方改革を推進したい」。しかし、子どもたちのために、「教材研究や先生方の研修を行う時間も確保したい。」という両立、本当に課題が多いです。しかし、その矛盾を乗り越えるための工夫を教えてください、あきらめずに取り組んでいこうと思いました。「がんばった人には、必ずいいことがある。」と信じて努力・工夫をしていきます。香田先生ありがとうございました。
- ・先生のご経験に基づくところからいただいたご助言は、とても身近で共感できる点ばかりで、今後の気持ちを前向きに舵取りするエネルギーをいただけました。ありがとうございました。
- ・超過勤務を月 45 時間内におさめてもらうように働きかけはするが、担任業務の大変さは理解でき、なかなか徹底は難しい。外部人材の活用にも限界がある。さらに、とにかく学校は人員が足りないのに、対応は増えていく。学校独自の改革では課題解決は難しいと感じる。

- ・本日の講話を視聴し、本当に今抱えている問題について乗り越えるための工夫を提示していただき、とても参考になりました。特に、「多様な勤務形態」と「安定した指導体制」の両立については、管理職だけでなく、校内教職員が互いの勤務形態について理解し、一方のみが負担となることなく相互補完できる勤務体制や役割分担をする必要があると改めて認識しました。職員一人一人がお互いを思いやって勤務できるように、その橋渡しができるよう努めたいです。
- ・教頭として教師や生徒、他にも様々なことに多面的・多角的に深く関わっていく必要性を改めて感じました。ただし、取り組み関わっていく方途もいくつかあるので、一つ一つできるところから取り組んでいかなければいけないと思いました。また「困り感を抱える児童生徒の学習保障」のプレゼン内容が、今の本校にとってとても参考になる内容で、勉強になりました。
- ・教職員のウエルビーイングが児童生徒のウエルビーイングにつながるので、まず教職員が適切な勤務環境の中で自ら学び続け、充実した教員生活を送られるようにしたいと思います。そのために香田先生のお話にあったように、日常的に負担感なく指導力の向上ができるように工夫することが教頭としての自分の使命であり、やりがいであると思いました。がんばります。ありがとうございました。
- ・小規模校の本校では、本当に4月の赴任以来、「働き方改革の推進」と「若手教員の指導力向上」の両立に悩みながらの毎日でしたので、香田先生のお話を聞いて、今後、どのような事から取り組んでいけばよいのか、少し方向性が見えてきました。また、「一人一人を真に大切に教育」「いのちの教育」についても、さらに推進していかなくてはならないと感じました。ありがとうございました。
- ・昨年度は「危機管理で迷ったときは面倒な方を選択する」ということをお聞きし、1年間心がけてきました逆に、十分にできなかったと感じていることは、給食時間と帰りの会はず教室にいて子どもたちの授業中以外の人間関係等とみるということです。今年度も、お話を拝聴する中で、学校の矛盾を乗り越えるための工夫の部分の中で、「教員の指導力向上」に取り組み、少しでも多くの先生方に充実感を味わえるようにしたいと思いました。一人一人の子ども、先生方そして自分自身を大切にしていきたいと思いました。ありがとうございました。
- ・日々の教頭の苦労の実態がわかっていただけたことがよくわかりました。また、県としても様々な施策を講じ、環境改善に尽力いただけていることもよくわかりました。矛盾を打破するための具体的な方途もたくさん教えていただき、頑張る勇気をもらいました。必ずいいことがあると信じ、頑張っていこうと思います。ありがとうございました。
- ・教頭にのしかかる矛盾の中で、教員の資質の向上研修について日常的に簡易的に行くと良いというお話を聞き、これで良いのだとある意味安心ができました。他の内容についても教頭しかわからない悩みについて温かみのあるご指導や県の方針を学び、これならできるかもという自信や希望を抱くことができました。
- ・「共闘に寄せられる学校の矛盾」としてまとめていただけた中には、現代の学校が抱えている問題であり、管理職として理解していないといけな言葉がキーワードとなっていて、自分への確かめや再確認しなければいけないものが、明確になりました。
- ・学校の矛盾に対する具体的な対策が、大変参考になりました。また、児童一人一人を真に大切に教育として、岐阜県で大切にしていることが明確に示されていて、今後の方向性がよくわかりました。
- ・働き方改革と教員の指導力については、まさに今の課題である。現任校は、小規模校で、先生方の分掌が多く、こ

- れをコツコツ行っていく事そのものが研修だと感じた。教頭として、場や内容をコーディネートして先生方の自信につながる結果になるような声かけをしようと思った。
- ・本校は小規模校であるため、他校と共同で行う職員研修の方法等、学ぶところが多くありました。また、欠員もあるなか、教育課程以外の活動において様々な職員が学級の中に入ることについては、一人一人の教諭の負担を減らすために行っていきたいと考えています。
- ・「頑張った人には必ず良いことがある」日々の子どもの笑顔であったり、教職員が充実した教育活動を展開し満足感を得た表情を見せてくれたりした時、私はホッとする。自身が担任をもっていたときには、同じように教頭先生が支え、価値づけ、一緒に喜んでくださったからこそ、今の私があるのだと思う。その時、その時の教頭先生の顔が思い出される。私、一人にできることは、限られている。一人の力では弱いつくづく感じる。だからこそ、全教職員が思いを一つにして、同意の上、気持ちよく動いてくれる時、作業は実にスムーズにそして、円滑に進み、疲労感も少ない。そういった意味では、職員の思いを一つに同じベクトルで向かっていけるかが重要になってくる。「すべては子ども達のために」に徹し、優先順位とバランスを踏まえ、どのような組織体制を仕組むかが重要になってくる。また、担任のもち方については、職員の病気休暇取得により、複数の職員で担任をもつことが現実になってきている。常勤にとられない事務分掌の工夫は、新たなチャレンジとして取り入れていく必要があると感じた。実際のところ、本校の時間外勤務は45時間を上回っているのは教頭のみであり、他の教職員の働き方改革は推進されている。日課表の見直しや会議時間の徹底など、精選した業務改善を図ることで少しずつ成果を上げているのだと思う。しかし、自身の働き方については、教頭でしかできないことも多く、他の職員に見えにくい部分でもある。その業務をいかに手際よく行えるかが、自身の今の課題である。保護者や地域の方と学校をつなぐコーディネーターとしての役割にやりがいを感じつつ、教職員の資質向上、子ども達の笑顔につなげていきたい。まずは、何か動くこと、それが前に進む一歩になる。子ども職員も大切にしたい指導に努める。
- ・矛盾を抱えている学校の状況について、理解していただいていることに勇気を持ってました。子どもたち、先生方たちのために力を尽くしていきたいと思いました。
- ・日頃感じている数々の現場での問題点・矛盾点について、気持ちを代弁していただけたようで心強いお話でした。職員の働き方と、学校現場の安定には、多くの矛盾を感じながらも、現場の先生方に頑張ってもらっているのが現状です。本当の意味での働き方改革を求められているような気持ちになり、背筋の伸びる時間になりました。ありがとうございました。
- ・職員や生徒、保護者、地域と様々な方々からの要望が多い中でも、学校では生徒だけでなく、職員に明るく元気に働きかけるようにしています。何か要望があれば、できるだけ早く応えるように努力しています。やはり疲れますが、思いを素直に伝えながら進めていきます。多様な勤務形態については、なかなか難しい物を感じておりますが、職員の仕事の効率上がるよう、指導していくことが大事な事だと思いました。とにかく頑張ります。
- ・教頭としての業務は、わからないことばかりですが、校長先生や職場の先生、子どもたちに支えられて何とか日々過ごしていますが、香田先生が言われたように様々な矛盾を感じていますが、工夫できることを引き続き模索していきたいと思いました。オンデマンド用指導資料は、私も見て先生方にも薦めていきたいと思っています。また、岐阜県の教育の方向性も具体的でよくわかりました。いつも香

田先生の励ましの言葉で元気づけられています。本当にありがとうございました。

- やらなくてはいけなことを両立するのが難しいことがあることを取り上げてくださっただけでも、大変心が軽くなりました。働き方改革で時短をするだけでは成り立たないことがあることは、誰もが気付いているはずですが、働き方改革の取組を進めていかなくてはならない状況に苦慮していますが、子供達と先生方のことを考え、教育対価に配慮し、本当に必要なことを見極め、提案、実践していきたいと思いました。また、プレゼン資料には、たくさん参考例が載っていましたので、もう一度読み、再考したいと思います。ご講話、ありがとうございました。
- スクラップ&ビルドの話がありました、教育委員会からはビルドばかりでなかなか大変です。
- 多くの激励のお話をいただくことができ、大変心が潤いました。感謝いたします。ご講話の中で、特に今現在悩んでいるところのお話を伺いました。本校の先生方は、子供のために本当に良くやったださる先生ばかりです。毎日子供のために、自然発生的にも会議が生まれているところですが、そのことと、限られた勤務時間とで折り合いをつけることを苦手としています。県内の月間平均勤務時間についてのお話から、働き方改革の推進をしていかなければいけないとまた決意を新たにいたしました。ありがとうございました。
- 教頭をあたたかく励ましていただきありがたかったです。
- 「寄せられる学校の矛盾」というテーマに、現在の学校状況と重なる部分があり、関心をもって拝聴させていただきました。若手教員の育成や児童数減に伴う職員数減、しかし、分掌等業務量は変わらないという状況の中、負担が偏ることなく、学校全体として業務を遂行していくことは大変だと感じています。講師のお話の中にあつたように、優先順位という考えかたで乗り切っていくしなないのかと思いました。少子化が進み、若い世代の数が少なくなっていく中、教員の数の確保も難しくなっていきます。子どもの数が減るから職員の数が減ってもと考えるには、一人が抱える業務量が多いと感じています。前例踏襲ではなく、まだまだ、削減できることはないか、簡略化できることはないかを見定めていきたいと思いました。もちろん、最優先は、子どもたちです。子どもたちの明るさや元気は明るい未来につながります。子どもたちの命が失われるようなことがないように、最大の努力をしていきたいです。
- 学校の矛盾については、教頭としてアイデアを提案しながらも、教職員の声を聴きながら取り組むことを大切にしてきました。管理職や担当だけが解決しようと努力しても、難しい問題だからです。講演のタイトルにあるように、教職員みんなで取り組むことで、よりよい対応ができるようになると思います。また、子どもたちが、安心安全な環境の中で学校生活を送ることは、とても大切なことだと思います。担任はもちろん、養護教諭、SC、S 相などとも連携しながら、一人一人を大切に教育に努めたいと思います。
- 昨年度と同様、様々な気づきと学びのあるご講話をいただきました。働き方改革と教育効果との両立は大きな課題であると、日々頭を抱えています。多くの方の知恵と想いを集めて、課題解決に向かっていきたいと思っております。
- 県内の教育時事情報と具体的な教育施策、各学校で取組について学べました。
- 新任教頭として赴任し、15年ぶりの小学校で、戸惑いの毎日である。また、市がちがうだけで、システムも様々な行事も違い、正直なところ、仕事をこなすのに精一杯である。その中で、小規模校で問題が起こっても担任一人で抱え込む傾向があることに気がつき、そこだけは連携しな

がら確実に指導していこうと心がけている。「がんばった人には、必ずいいことがある。」の言葉を信じて、何とか勤めていきます。ありがとうございました。

- 学校には矛盾が沢山ある。しかし、少しだけ視点を変えることによって工夫できることがあることが理解することができた。
- 日常の業務で常に感じていた矛盾点について、同じ思いを抱いている教頭先生方がいらっやして、さらにその点に香田先生が共感して打開の方向性を示していただいたことに嬉しく思いました。働き方改革、指導力向上どちらの視点にたつても充実した豊かな教員としてのキャリアを積む上で大切なポイントだと思います。また、多様な人員不足や多忙感解消のため、そして多様な勤務形態をいかに有効活用し、互いが気持ちよく働ける職場にするか、コミュニケーションを通して新しい発想で対応していきたいと思ひます。これからの教育のあり方については不登校に限らず困り感を抱えている状況からの二次障害も含めて子供たちの学びの場の多様化、職員自身が社会的自立のために現段階でどんな学び学び方が良いかなど多様な学びに対して柔軟に対応できる資質向上も必要性を感じますのでそのための発信をしていきたいと思ひます。ありがとうございました。
- 働き方改革と教職員指導の両立が難しいと感じていたので、今日のお話でヒントをいただけて大変参考になりました。ありがとうございました。
- 教頭という職務に寄り添ったお話で 元気が出ました。来週からも頑張ろうと言う気持ちにもなれました。ありがとうございました。
- 教頭として感じる矛盾について、香田先生がおっしゃることに同感しました。しかし、どれもしなくてはいけないことばかりなので、それらにどのように対応していくのかを考えなくてはいけないと感じました。また、一人一人の子どもを大切に教育を目指し、そのことによって子どもたちが学校を好きになり、安心して生活できるように努力していきたいと思ひます。御講話ありがとうございました。
- 大変貴重なご講話をいただき、誠にありがとうございました。学校が抱えている数多くの矛盾の解決方法についてご提案いただき、本当にありがたかったです。週時程の見直しや会議時間の制限などは、すぐにでも実践していきたいと感じました。何より、いくつかの矛盾をご理解いただいていることがうれしく感じました。また、教師不足解消に向け、数多くの取組を実践されていることを知り、自分も自分ができることを精一杯取り組んでいかなければならないな、という気持ちになりました。ぎふいのちの教育の実現に向け、必ず自殺予防教育を実践していきます。本日はありがとうございました。
- 教頭の多岐にわたる業務が、頭の中で整理され、今後の課題が明らかになりました。
- 新採教員への奨学金返還補助制度の創設やベテラン教員の活躍支援など、岐阜県型・教職魅力化に向けた取組方針について、よい取組だと感じました。また、教職の魅力は、子どもたち一人一人の成長の喜びを実感できることに大きくうなずきました。私たち教師が生き生きと働く姿こそが、今後、若い世代が教職へと進む希望をわかせることにつながるのだらうと思ひました。
- 教頭職の大変さを理解、共感して頂いている上で、様々な施策を考えていただいていることがよく分かった。ビルド&ビルドにならないよう、今後もご助言いただきたいです。「がんばろう。」という、励ましのお言葉が嬉しかったです。
- 学校の矛盾を乗り越えるための工夫については、改めて現在の取組方を見直す機会となった。これからの社会に必要な教育の在り方については、この数年特に意識をし

てきた。条件整備から工夫を取り入れ、さらに実を重ねていきたいと感じた。

- 時代を担う生徒の成長をともに喜ぶ教師でありたい。しかし、欠員により学年主任兼担任、学年授業授業を余儀なくされている教科がある現状。授業改善、資質向上以前の問題である。とくに3クラス規模の学校の負担は尋常ではない。
- 学校の矛盾については、現任校でも実感していた内容があり、乗り越える方法の柱となる部分を教えていただけたので、実践していきたいと思いました。また、児童、職員、将来教職につきたいと考えている学生など、幅広い世代の一人一人を大切にできる教頭になりたいと思いました。ありがとうございました。
- 教頭先生のところに寄せられる学校の矛盾の中で、「働き方改革の推進」と「教職員の指導力向上」の両立について、私自身も本当にどうしたらよいか日々悩んでいます。どちらも大切なことであることは分かっているのですが、具体的にどうしたらよいか考えていたところでしたので、今回教えていただいたことを参考に実践していきたいと思います。先生不足は現任校でも実感しています。魅力ある職場づくりをしていくことが未来につながっていくと思いますので、固定観念にとらわれない取り組みを考えていきます。本日はありがとうございました。
- 3つの矛盾の話をされたが、まったくその通りである。この矛盾に対する様々な対策や対応を紹介していただき大変ありがたい。抜本的な解決にはならないまでも前向きに考えていきたい。
- 今まで同様、教頭として勤労意欲の高まるお話に、大変感謝しております。特に、「矛盾」の件ですが、校内で優先順位を決めておく、あるいは、教頭自身が優先順位をゆるぎないものとして持っていること重要性を再確認しました。今後は個人プレーではなく、職員に頼りながら、互いに知恵を出し合い、児童一人一人の成長を心から願い、すぐに組織的に動ける学校を目指し、学校長の指導のもと、邁進したいと思いました。ありがとうございました。
- 初任教頭として勤務する中で、教諭であった時以上に、漠然と感じている学校の矛盾を、ズバリと言い当てられた気がした。勤務校での優先順位を決定し、学校独自の工夫が矛盾を乗り越え、両立できるキーワードの一つと再確認できた。学校長を支え、円滑な学校経営ができる教頭でありたい。
- 小規模校は、楽だ、楽しいところだ、早く帰ることができていいと言われますが、事実とは異なります。小さな学校で力をつけて、大きな学校で発揮すると、小さい学校を蔑むような指導を受けましたが、これも事実と違います。小さい学校ならではの、切実な困り事がたくさんあります。1人が、4つも5つも主任・校務分掌を抱え、出張に明けくれ、子どもと過ごす時間がどんどん削られています。教材研究なんてとんでもないことになっています。その気持ちを代弁していただき、とても嬉しいです。
- 非常に分かりやすく説明いただきありがとうございました。オンデマンドの開催ということで自宅で視聴させていただき、心のゆとりをもって臨むことができ学習効果が上がったように思います。毎日の生活の中で、人材不足は否めず、どの職員もぎりぎりの仕事をしています。こんな時こそ、チーム学校で様々な問題に対応していきたいと思いました。プレゼン資料をもう一度読み込み勉強させていただきます。ありがとうございました。
- お話を伺って、エネルギーをいただきました。初任教頭として、満足なお仕事できていないことが多く、子供たちや保護者の皆様、教職員のみなさんに、十分に貢献できていないと感じていますが、今は仕事を覚え、話をよく聴き、直向きに取り組み続けることで、この先、必ず今より

も貢献できるようになると信じて、現状を楽しみながら精一杯取り組んでいこうと、改めて思いました。

- 矛盾はあるけれども工夫次第だと言うことを改めて思いました。できないではなく、やれるように学校のスタッフと連携して特に職員研修を随時進めたいと思いました。校内における優先順位も常に私がしっかりと捉えミドルリーダーと共有しながら進めて行きます。教頭1人では何もできない、けれども職員、PTA、地域を巻き込めばいろんなことができると感じています。香田先生のお話はそのために貴重なご示唆でした。「学校に矛盾はある。けれども前向きに捉え解決ができる問題である。」「常に、子どものためにを軸足に考える。」校長を補佐する教頭として念頭におきながら1歩1歩進めて行き、校長の学校運営方針の実現に向けて要となりたく思います。本日は、貴重なご講話ありがとうございました。
- 岐阜県の教育に関わる諸問題や大切にしていきたいことについて、具体的に教えていただきました。教頭は、子ども、職員、保護者、地域の方、関係諸団体等、多くの方と関わります。その方達が、何を求めているのかを的確に判断し、対応することが必要であると考えています。アンテナを高くし、一つ一つのことに真摯に向き合っていきたいです。教え子から教採に受かりましたと報告を
- 児童生徒を同じ方向へ向かせようとするといった教育からの脱却が必要だと言われているにも関わらず、どうしてもそこから抜け出せないところがあります。そのことを考えたときに、自校の児童のことが思い浮かび、個々の児童を枠に入れようとするのではなく、その子への学習保障をどうするのか、学校を安心して過ごすことができる場所にすることを考えなければと改めて思いました。
- 教頭の職務に関わる矛盾を明らかにしながら教頭の立場を十分にご理解いただいて温かいお言葉をいただき励みになりました。ありがとうございました。
- 昨年もそうでしたが、とってとても幸せな気持ちになりました。毎日、いろいろあり、悩む毎日ですが気持ちを切り替えてがんばろうと思うことができました。まずは、テーマが素敵です。聞きたくなるテーマです。また、内容も知りたかった内容です。私の、私たちの悩みや不安を本当にわかってくださっての講話で本当に嬉しいです。私は、教頭7年目になります。残りの4年間もさらに教頭としての力をアップさせたいと考えています。来年の6月も楽しみにしております。ありがとうございました。付けて付けたいと
- 勤務校の課題について分析し、対策を考えようと思いました。
- 学校の矛盾(学校課題)を解決するために、さまざまな対策(工夫)を講ずる見方・考え方が必要であることを学んだ。また、一人一人を真に大切にすることを実現するために、学校内外の連携を図る必要性がある。その要に教頭がならなくてはいけないと感じた。
- 多様な生徒への学習保障は、本校でも課題となっている。場所や時間、人員など考えなければならないことが山積している。各校での対応だけでは難しいので、関係人口ではないが、関係支援者を増やしたいと思った。
- 頑張らないといけないと感じた。
- 「がんばったらいいことがある」の最後のメッセージに励まされ、来週もがんばろうと明るい気持ちになりました。多様な勤務体系、特に育児のための流動的な働き方が増えると、現場を支える職員に負担がかかります。複数で担任や校務分掌(主任)を担当することは、取り入れたいことです。また、給食、朝の会の人材活用については、非常勤で勤める方に、その時間に出勤してもらう勤務形態をお願いしておかねばならず、校長先生の見通しある人事を具申していかねばならないと思いました。今回の研修

で学び得た情報をもとに、校長とよく相談したいと思えます。

- ・講話を聞いて、教頭として、職員、子どものためにフットワーク軽く動き、教職の仕事の魅力を感じることに繋がりたいと強く思いました。ありがとうございました。
- ・具体的な県の方向性や取組についてお話いただき、よく分かりました。特に、コロナ禍からさまざまな活動の精査がされる中、命を大切に、一人一人の心と学びを大切にすることを改めて大切にしていく必要性を感じました。ありがとうございました。
- ・「学校の矛盾」ということで、具体的な例をあげてお話をしていただき、普段から「どうしたらよいか」「何とかしなければ」と自分自身感じていたことについて、改めて整理をして考えることができました。矛盾を乗り越えるための工夫についても詳しくお示しいただき、自校の課題を解決するためのヒントをたくさんいただきました。特に「働き方改革の推進」と「教員の指導力向上」の両立、「多様な勤務形態」と「安定した指導体制」の両立について、教えていただいた工夫を参考にして考え、取り組んでいきたいと思えます。また、「一人一人を真に大切に教育」についてのお話の中で、「本当に子供たち一人一人を大切にしてくださいだろうか?」という問いかけが心に残りました。この言葉をしっかりと受け止め、特に困り感を抱えている子への支援について、よりきめ細かく丁寧に考えていきたいと思えます。
- ・現在の学校現場に求められていることと、実際の現場での課題を取り上げ、対応の具体を例示していただけたことがありがたく思いました。やらなければならないことばかりですが、できていないことが多く反省が多くあります。最後に話された、これまでの学校教育に対する問題意識については、自信も問題に感じてはいるもののどのようにしていったらよいかと考える毎日です。明日からも意識し実践を重ねたいと思えます。ありがとうございました。
- ・教頭という役職において直面する「矛盾」について、真正面から県教委としてのお考えが聞け、大変勉強になりました。今年度から、当校でも「メンター制度」による研修を行っています。自信をもって取り組んでいきます。
- ・「教頭に寄せられる学校の矛盾」について、様々な問題の両立の具体的な例や方策をお示しただけだったので、自校で実践できることから積極的に取り入れていきたいと思えました。その中で、「これまでの学校教育に対する問題意識」については、正に自校にも当てはまる課題であると感じる点が多くありました。改善していかなければならない学校課題として、職員で取り組んでいきたいと思えます。また、「一人一人を真に大切に教育の展開」については、児童全員が、自分や仲間の存在を大切にできる学校を目指して、すべての教育活動の根幹であるという認識に立ち、子供の教育に当たっていきたくと思えます。貴重なご講演をありがとうございました。
- ・五類移行、今まさに転換期を迎えています。これまでの教育を取り戻すのではなく、令和の日本型教育を目指す、予測不能な時代を生きる子ども達に必要な資質・能力をいかに身につけ、高めるかへと舵取りをしていく。そのために、教員の学びは学校、教室だけで完結できない。免許更新制度が廃止された今だからこそ、研究、修養に自ら取り組む「学び続ける教師」で在ること。それなくして絶対解のない、問題への答えを子ども達に示すことはできない。
- ・多くの教頭が同じ思いを感じていることがわかりました。職責をしっかりと果たそうと思えます。
- ・大変勇気付けられました。ありがとうございました。
- ・学校現場の様々な矛盾の中で、日々、葛藤し、苦悩している私たち教頭職にある者へ、『学校の矛盾を乗り越え、新たな教育をつくろう』と、あたたかく力強いメッセージを

- いただき、エネルギーが湧いてきました。矛盾の一つ目、「働き方改革の推進」と「教員の指導力向上」の両立をどう乗り越えるかについてですが、本校では、「OJTによる日常的な研修体制」を実践しています。2年目から6年目の教員が担任を任されており、その若手教員に対して教頭、教務主任、生徒指導主事が、日常の業務を通して育成に当たっています。ここに、「学校間連携による相談体制」を取り入れていきたいと思えました。本校は小規模校なので、同様の近隣の小規模校と学校間連携を図ることで、両立ができると考えました。ちょうど、昨年度は、近隣の学校と児童生徒間のオンライン交流の取組を軌道に乗せたので、今年度は、教職員間を合同研修会やミーティングで結ぶことで、学校間連携を軌道に乗せたいと思えます。その際、ICTを効果的に活用することで、負担を軽減し、働き方改革との両立を図りたいと考えています。矛盾の2つ目、「学力向上」と「問題行動への早期対応」の両立という矛盾をどう乗り越えるかについてですが、「優先順位を決定する際の視点」を職員間で共通理解を図るとともに、効率的・効果的な対応を考え、平素の会議運営を最適なものにしておくことで、無駄や無理がないようにしていきたい。また、オンデマンド用指導資料の活用を促すために、自ら活用しつつ、それらの指導資料を教職員に紹介して、活用の普及を図りたい。『一人一人を真に大切に教育の展開』においては、「困り感を抱える児童生徒への学習保障」として、不登校の児童生徒に対して、一人一人の教育機会を確保するために、市や県にはどのような支援組織や支援体制があり、どのような取組がなされているのかについて現場の教職員に周知を図り、困り感を抱える児童生徒の支援へとつないでいきたい。また、教師不足解消に向けては、岐阜県ではどのような「教職魅力化」の取組がなされているか、地域の集まりなどの機会に教職の魅力や魅力を自ら発信したり、県の取組を紹介したりしていきたいと思えます。最後に、「教頭先生のお陰で、学校が楽しくなった」と思ってもらえるように、今年度も取り組みたいと思えます。いつもあたたかい言葉がけをしてくださり、ありがとうございました。
- ・日頃感じていた教頭業務の難しさを理解いただいていることや具体的な支援策をご教示いただけたことに、救われた気持ちになりました。最後のメッセージにあるように「教頭先生が居てくれるから学校がたのしくなった」と言ってもらえるよう、今日からまた頑張ろうと思えました。
  - ・義務総括監が我々教頭に期待することがよく伝わってきました。事件は現場で起きるではありませんが、日々何かに追われている生活が4月から続いています。しかし、自分自身が心に余裕がないと他の職員への対応も冷たいものになってしまうので、その点には気をつけていきたいと思えます。
  - ・新しい考え方や、問題を解決するための仕組みがあることがわかった。しかし、新しいことが入ってくると教員の仕事は増え、若い職員だけではなく経験豊富で面倒見の良い教員の負担が増えてしまう。新しく何かを加えるのであれば、撤廃するものもはっきり示してほしい。また、病気で休暇を取ることは権利ではあるけれど、その分の穴埋めなどの負担が各市町村や学校にかかっていることを解決してほしい。
  - ・教頭先生のところに寄せられる学校の矛盾、大きく3点本当にそうだなづきながら、聞くことができました
  - ・日ごろから感じている課題について、具体的な取組事例等を挙げていただいたので、大変参考になった。ありがとうございました。
  - ・学校教育における矛盾のよりよい解決策として、教頭が中心となって果たすよい工夫や改善について教えていただくことができました。日々の業務の中、見通しを持ち

ながら、職員の協力体制のもと、一つ一つできる範囲から考えていきたいと思います。

- ・具体的な工夫内容が示され、大変参考になりました。
- ・香田先生のお話はいつも分かりやすく、また元気をいただけます。「学校の矛盾」色々あります。それを解決したり、少しでもよい方向に向かえるように調整するのが教頭の役割です。話を聞いて、今の自分の実践を見つめ直すことができました。ありがとうございました。
- ・香田先生から、「教頭がんばれ」とエールをいただきました。教頭は雑多な仕事が多いですが、やりがいも沢山あります。子どもの、職員の少しの成長に喜びを感じながらこれからも前向きに取り組んでいきます。
- ・教頭の立場を理解していただき、「様々なから寄せられる学校の矛盾」と「一人一人を真に大切に教育の展開」の2本柱を中心に、具体的に対応の在り方を指導・助言いただけて、よい学びとなりました。職員の要望を把握した上で、様々な手立てを講じる必要があると改めて感じました。特に期首面談等で職員理解をすることの重要性を感じました。ありがとうございました。
- ・「一人一人を大切に教育」を展開していくことは必然である。そのために新たな教育のあり方について考えて工夫していく必要がある。子どもたちも多種・多様で、家庭事情、外国籍、困り感を抱えており、学びを保証していくことができるようにしていきたい。多くの施策などもあり、学校の実情に合わせてそれらを有効活用していきたい。
- ・児童の指導と保護者対応に追われている日々ではあるが、その中だからこそ、教職員同士で学ぶことができる指導観等があると感じた。
- ・本講話で香田先生があげられた学校が抱える矛盾について、どれも日々悩んでいることばかりで、深く納得しました。本講話において、矛盾を乗り越えるためのアイデアをご示唆いただきました。これまでの「学校の、教員のあたりまえ」を、管理職が変革していかななくては変わらないのだと痛感しています。子どもたちのために、これからの若い先生たちのために、自分にできることをやっていこうと思えます。本日は、貴重なご講話をありがとうございました。
- ・教頭として、どんなことに気をつけて対応すればよいのか、とても分かりやすく、実践に生かすことができる内容でした。ありがとうございました。
- ・様々な矛盾に対して共感的にメッセージを送ってくださり本当にありがたいと思えました。今後も学校内で改善していかなければ、と再確認することができました。本校は、学級数も多く若い先生方も多く配属されています。問題行動への早期対応や子ども一人一人の成長への喜びを実感できるように教職員としての意識と魅力化の向上を図れるように取り組みたいと考えています。
- ・同じようなことに矛盾を感じるがありました。しかし、その中でも優先しないといけないこと、大切にしないといけないことを改めて確認することができました。子供たち一人一人の成長への喜びを実感できるように、一人一人を大切にすること、生命を大切さ、働き方改革、指導力向上などを考えていきたいです。話を聞いて改めてがんばろうと感じました。ありがとうございました。
- ・学校の矛盾の話から、本当にその通りと思ひながら聞かせていただきました。やはり、無駄と言われる時間の中には、職員と親しくなれたり、ストレスの発散の場になったりと大切なものです。とはいえ、そんな時間もあまりとれないことにより、職員の心身の健康を害することもあります。本校は、幸い不登校問題や生徒指導問題も少なく児童一人一人を全職員で見守れる少規模学校です。来年からの新しい学園に向けて子どもたちが臆することなく、堂々と自分の考えを述べ、有意義な学校生活が送れるよ

う、子どもたちを教育していきたいと思えます。本日は、たくさんのお話を学ばせて頂き、ありがとうございました。

- ・様々な課題に対して、教頭のリーダーシップのもと、自校の教職員とあきらめることなく、地道に取り組んでいく必要を感じた。工夫次第では、日頃の学校の矛盾も十分解決していけると感じる。そのためにも、様々な実践に触れる機会も増やしていきたい。
- ・学校の矛盾については、これまでも担任や教務主任という立場でも感じてきました。今回の香田先生のお話を伺いながら、改めて教頭という立場で考え直す機会となりました。ありがとうございました。
- ・学校の矛盾について教職員の理解を得るのは難しい。特に勤務時間外在在等時間については、教職員の困り事を十分に聴いて一緒に改善策を考えたりこちらで補ったりしているが、根本的にシステムを変える必要がある。まずは教職員数を増やすことを望む。本市では、退職教員に教科等専門指導員という形で現職をサポートする体制が整っている。また、プリント印刷・仕分けや掲示などの作業を担うスタッフも配置されている。この体制がさらに拡充されるとよい。(学校教育参画人員を増やす。勤務時間を伸ばす。)次に、小学校においても発達段階を考慮した弾力的な教科担任制の導入を図っていきたく思った。このようにして教職員にゆとりが生まれれば、児童生徒一人一人を大切に教育の充実を図れると考える。限られた時間の中で成果を出すには、学校のシステム・環境を支える行政の力が重要であると感じた。
- ・新しい取り組みに積極的に挑戦し、より良い形を創っていく管理職でありたいと思えました
- ・学校の抱える様々な課題やその解決の方向について、分かりやすく教えていただけた。分かりやすくおしえ
- ・学校が関わる矛盾の視点から、現在直面している課題の難しさを改めて理解できた。教育課程に位置づいていない活動は、教員免許状のない立場の方に支援を頼むことや、若手の研修を通常業務の中で短い時間で効率的に取り組むこと等、アイデア次第で改善を臨めることもありそうだと感じました。最後の言葉にもあったように、教頭先生がいたから、良かったと言ってもらえるような動きをしたいと改めて、思いました。ありがとうございました。
- ・教頭として心がけることや仕事を円滑に行うための手段や心構えが分かりました。
- ・教育現場にある、様々な矛盾に対し事例を挙げて講話いただけたのがよかった。子どもや保護者、社会の価値観が多様化する中、一人一人を大切に教育の必要性や難しさを感じるが、学校内外問わず、いろんなつながりを生かして情報共有できたらと思っている。
- ・香田先生の講話の中にもありましたが、「学校の矛盾」については、ここ数年教頭として感じていたことでした。今回、具体的な事例を紹介していただき、参考にできるところがたくさんありました。特に若手職員が増加傾向になる昨今、教員の指導力の向上は喫緊の課題だと感じていたため、効率的な研修の場を今後も検討していきたいと思ひました。「ぎふいのちの教育」の推進については、職員にも改めて周知していきたいと感じました。コロナ禍があげ、様々な活動ができるようになったとはいえ、コロナ禍の影響を受けている児童はたくさんいると思っています。教育相談など充実していかななくてはならないと感じています。香田先生、いろいろご指導いただきありがとうございました。
- ・教頭としての職責の重さを改めて感じましたが、頼りにされることを喜びと捉え頑張ろうと思ひました。また、児童生徒一人一人を大切に教育の推進に向けて、職員の先頭に立って進めていきたいと思ひました。
- ・頑張らねば と思ひました。



- 先生のお話の中の学校の矛盾は、本当に日々感じているところで、苦しんでいることでもあり、そう簡単に対応することができないことばかりで、解消も難しいと感じています。しかし、さじを投げるわけにはいかないの、日々戦っております。先生のお話の中にも、応援して下さる機関や制度などなんとかサポートしようとして下さっていることもたくさんあることがわかり、心強く思いました。矛盾の解消に、即効性のある画期的な方法はないと思うので、日々自分なりに考えて、立ち向かっていきたいと思っております。
- 役立つ情報やメッセージをいただき、ありがとうございました。
- 「がんばろう！教頭先生。」ではなく「みんなでがんばろう！教頭先生」この「みんなで」があることで心救われる気がしました。現在、学校現場は人材不足であります、勤務時間外在校等時間は月45時間、若手育成の為に校内研修は必要です。様々なしがらみの中で勤務していますが、どんなに忙しくてもコミュニケーションを大切にしています。なぜなら、同僚性が育まれている職員間であれば、助け合い支え合う中で勤務できると考えるからです。そして、コミュニケーションを図ることが、自然とOJT研修につながっていたり、メンターによる支援が可能になったりしています。私たちは「個」ではなく「組織」として児童や保護者と向き合っているということを感じながら、これからの職務にも邁進していきたいと感じました。
- 時間外勤務を減らす取り組みについて、本校は日課の改善等に一步前進したと感じています。しかし、教育現場全体を見ると、本当に可能なのかと感じてしまう部分もあります。一日二時間の時間外として、月20日で40時間。休日に月二回の部活動指導をしたら、45時間を超えることとなります。
- 3つの学校が抱える矛盾について納得しました。日頃感じていることでしたし、簡単に解決するものではありませんが、教えていただいた視点を活かし、今取り組んでいることをブラッシュアップしたいと考えました。本当にこれまで子ども一人一人を大切にしてきたかを見直しながら、新しい教育にシフトチェンジできるよう引き続き働きかけたいと思います。
- 改めて教頭は学校の要、職員の元気の素となるよう、前向きでいたいと感じた。
- 学校で直面する数々の矛盾に対して、日々悩みながら対応していますが、様々な方策をご教示いただき、大変勉強になりました。また、かけがえのない命を守るための教育を本校でも全力で取り組んでいきたいと強く思います。ありがとうございました。
- 矛盾だらけの教育会。その中で教頭は激務と言われます。一般の教諭は働き方改革の名のもとに様々な配慮がされるようになっていますが、教頭の激務そのものを軽減しようとする具体的な内容に触れることは少なく、結局教頭は1番の犠牲になって、あきらめて激務に耐えろとなってしまうように思えます。教頭の激務そのものをどう改善するか。それがとても大切なように思いました。ありがとうございました。
- 香田先生からの、「『誰一人取り残さない』とは言うけれど、本当に子供たち一人一人を大切にしてきたのだろうか？」という問いを受け、学校教育として従来当たり前と思っていたこと、良かれと思って疑いもなかったことを見直さなければいけないのだと強く感じました。また、「ぎふ いのちの教育」の推進においては、深刻な状況が続く中、自殺予防教育、とりわけ「SOSの出し方教育」について、学校全体で取り組んでいかなくてはならない緊急性の高いものだと分かりました。教師側の校内相談体制は整えています、その体制が十分に機能するために、

- 子ども側へのSOSの出し方指導が必要であると考えます。ありがとうございました。
- 子ども達のためにも、先生方にとって、学校現場が少しでも笑顔で働きやすい環境となるよう尽力していきたいと思いました。ありがとうございました。
- 今年度から教頭をさせていただき、やはり様々な「矛盾」を感じる人が多いです。その都度悩みながら、正しい判断ができるようになりたいと日々思いながら過ごしています。
- 働き方改革と教職員の質の向上、多様な勤務形態と安定した指導体制等、両立は難しいが両立させなくてはならない問題に頭を悩ませていましたが、具体的な方策の例を示していただいたので「児童、職員の一人も取り残すことなく高め合える学校づくり」の方策が見えてきました。本校に合ったものを実践していきます。先生もお体ご自愛ください。
- 丁寧に分析された資料をもとにわかりやすい話でした
- 研修、会議、勤務形態、不登校対策など、具体的な実践方法を示していただき、とても参考になりました。
- 「教頭先生のところに寄せられる学校の矛盾」の具体的な事例の通り、本校においても相反する内容をいかに受け止め、職員とともに乗り越えていくのが課題になっていました。講話いただいた内容に共感しながら視聴しました。また、「多様な勤務形態」と「働き方改革」など、事例同士がつながっている課題もあります。今回の講話では実践方法やポイントを示していただいたので、早速取り入れていきたいと思えます。まずは、職員間の連携の基盤となるコミュニケーションをしっかりと図る動きをしたいと感じております。ありがとうございました。
- 今の学校の実情をよく見直し、様々な面で効率的、効果的な組織体制になっているかを考えていく必要があると改めて考えました。そして教頭先生が居てくれたから楽しくなりました、そんなふうにしてもらえるように精一杯努めていきたいと思えました。ありがとうございました。
- 日頃から考えていることの答えを導き出していただいた気がしました。今日的な課題が山積していますが、子供のため、職員のため、がんばろうという気になりました。ありがとうございました。
- 矛盾を感じながらやっていることがありましたが、今回の講話を聴き、まだ改善できそうなことがあること、児童生徒の命を大切にする教育の推進が必要であると感じました。
- 働き方改革が進められているが、管理職の負担がとかく大きいと思う。子どもたちの中にも「先生はブラック」と広まりつつあり、「先生と言う仕事に関心はあるけど保護者から(ブラックだから)やめた方が」と言われている子も年に何度か聞く。そうした印象をどのように払拭していくか、新に考える必要があると思う。香田先生の話聞き、改革が進められていることは改めて実感したが、世間のイメージを覆すような改革を進めていただくと同時に、私たち管理職も最善の努力をしていきたい。
- 我々学校現場では、できることを考えてやっているつもりでしたが、もうできることはないかを再度チェックしてみたいと思えました。
- 自分の行なっている業務、対応している案件の一つ一つが、子どもの幸せ、職員の安心に繋がっていることを意識して、明日からまた頑張らねばと思えました。ありがとうございました。
- 現在の状況などをわかりやすく解説していただき、ありがたかった。
- がんばった人には必ずいいことが起きる、そんな風に先生方自身がおもっていただける学校、職員集団であるためにも、私自身が姿で示すことの大切さ、学ぶ楽しさを実感し、成長していくことの大切さについて考えました。今の

学校の教育の在り方、組織的な動き、会議等の在り方など、様々な視点から先生方の働きやすい、働きがいのある職場になるよう、子どもたちの姿を基に検証し、必要な改善点を見出していきたく思いました。本校の職員は子どものために、そして一緒に働いている先生方を思って頑張っている先生方ばかりです。しかし、結果、勤務時間が長くなります。冷静な目で見極め、これまでの当り前をもう一度見直し、改善をしていきたくです。また、本校には教諭を目指している方がいらっしゃる。その方が教諭への憧れや期待を胸に進んでいけるようにするためにも、毎日先生方が笑顔でこの八幡小学校で子供の前に立つことができるようにしていきたいと思いました。ありがとうございました。

- 勤務時間の管理をしながらも職員の資質向上やコミュニケーションを図らなければならないなど、日常感じている矛盾について共感していただけた気がして嬉しかったです。本校は小規模校で、20代の若手教員が非常に多い職員構成です。ミドルリーダーがいない中、どのように職員を育てていくか、管理職としての責任の重さを痛感しました。
- 子供たち一人ひとりを大切にしたい指導を行うことを強く願って実践に当たっているが、教職員一人一人を大切にこそ実現するものだと思えて感じた。教職員が日々の勤務や研修、生徒への指導に、無理なく取り組み、やりがいや達成感を味わうことができるようにすることで教育の質を高め、チームで取り組む姿勢をこれからも大切にしていきたい。
- 教頭職2年目の今年度、一番配慮したのが、職員の多様な勤務形態を配慮した指導体制と週時程の見直しでした。昨年度は、与えられたものを実践するスタートでしたが、実態が分かるにつれ、多くの課題が見えてきたからです。どの職員も、無理なく気持ちよく、やりがいをもって働くためには、それらがいかにか大切かも痛感しました。香田様からのメッセージを拝見し、まだまだ多くの工夫や見直しができることが分かりました。生徒はもちろんのこと、全職員を守り切るために、教頭としての責務の重さを改めて感じる研修となりました。ありがとうございました。
- いつも、「きちんとできていない。足りていない。」と、考えながらできることを一生懸命しています。矛盾はあるのだ。と言っていたら、それをどうできるか。という思考になれます。「わかっていただけた。」という気持ちになれます。児童のために教員になったものの、気付けば大人や全体の管理で、自分の力のなさを反省する毎日ですが、教えていただいたことを生かして、少しでも効率的にと考えて、みんなの心を大切に働きやすい学校で児童を育てることができるようにがんばります。ありがとうございました。
- 労いと励ましのおことばや、学校の矛盾を乗り越えるための具体的な策をご教示いただき、教頭として、学校課題の解決のために一層努めていきたいと思いました。
- 病気休暇等による人手不足が喫緊の課題である為、「多様な勤務形態と安定した指導体制の両立」の内容は大変参考になりました。
- 本校にも保健室登校の児童が在籍していますが、社会的自立に向けた支援(必ずしも教室に戻すことが目標ではないといった内容)が特に参考になりました。また、本校にも来年度、部分休業を希望している男性教員がいますが、勤務の多様性をどう学校運営にプラスにしていくか、複数担・主任制を含めて検討していく必要性を感じました。
- 「働き方改革の推進」と「教員の指導力向上」の両立、まさに本校でもどうしていくとよいか悩んでいる内容についてのお話で、興味深うかがうことができました。いくつか例を示していただきましたので、それらを参考に本校

できそうなことを取り入れ、負担のないように、でも資質能力が向上するようにまずは取り組んでみようと思いました。ありがとうございました。

- 何事も工夫次第で乗り越えていくことが可能であるとの勇気をいただきました。先を見据え、優先順位を考え、全てにおける最善と最適化に努めていきたいと考えました。最後の一人一人を大切にしたい教育については、特に重く受け止めました。いじめ、不登校の防止、自殺予防等、命を大切にしたい教育に力を入れていきたいと考えました。子どもたち、そして、先生たちの明るい未来に向けて、精一杯頑張っていきたいと思いました。ご指導ありがとうございました。
- 学校現場の矛盾について日々抱えている我々の「もやもや感」について、香田先生から見解を述べていただけて、ヒントとなる実践を思いつくことができました。
- 日々、忙しい中、優先順位を付けるところ、両立をしていくところを見極めていきたいと思っています。いただいたプレゼン資料は、読み直し、理解していきたいと思っています。
- 働き方改革の難しさを感じます。行事の見直し、人の配置など考えていきたい。
- 理想を大切にしていきたいのですが、目の前の雑事に追い立てられているのが現実です。職員全員が元気に年度末を迎えることを個人的には大切にしております。ありがとうございました。して
- 一人一人を真に大切にしたい教育については、十分に手立てを改善するとともに、組織的な仕組みの見直しが急務であると感じます。その際、対応にあたる職員が複数必要だと考えます。
- 働き方改革と教員の資質向上は、両輪でなくてはならないと考えます。実際に、自主研等研究授業の数も少なめに設定し、指導案もできるだけ簡略化の方向です。しかし、教科指導の面で指導の必要性を感じることがあります。そうした指導の時間は明らかに少なくなっていると感じます。空いた時間というのは難しく、目的を明確にし、内容を厳選して、時間もきちんと設定し、互いに準備をした上で、できるだけ短時間で有効な指導や助言ができるように、管理職も学んでいく必要があると思います。また、あえて研修という時間を設定しなくても、普段の打ち合わせの中でも、職員の資質向上に資する内容を提供していくことはできます。回数や時間を縮小していく分の努力や工夫は個人でも組織としてもしていけるように、考えていきたいと思っています。また、学力向上と問題行動への初期対応についても、優先度を適切に設定する力が必要です。何よりも児童の安全や命には緊急対応で取り組んでいきます。それが、働き方改革や学力向上の取組、職員にとってもよいことにつながっていくと思っています。香田先生からお話いただいたことを大切に考えていきます。ありがとうございました。
- 教職を目指す若者への支援など、新たな施策が考えられていることを知りました。貴重な人材を丁寧に育てていく使命が教頭にはあると感じています。
- ご講話、ありがとうございました。香田参与義務総様の話を聞きますと、いつも元気とやる気が出てきます。「がんばった人には、必ずいいことがある。」ことは、自らの実践においても経験していることですが、教頭のみならず教職員も同じ感覚「あなたが居てくれたおかげ」を味わうことができるよう、バランスを取りながらコミュニケーション、指導・助言を図っていきたく思っています。岐阜県教育委員会の取組の意図を把握し、学校現場でも実践、評価、改善できるようにしていきたいです。自校にも、「希死念慮」がある児童がいます。命について考える時間は、教育課程の中で多くあるため、打合せ等で確認したり、環境を改善したり、関係機関と連携したりしながら、自殺予防教

育を推進していきたいと思いました。ありがとうございました。

- 一人一人を大切にすることを大切にしていくために児童生徒もそして先生方にとっても安心して、充実した取り組みをしてもらえようさらに努力していきたいと思いました。
- 一人一人を真に大切にする教育を展開するために、教室の授業だけでなく、フリースクール、メタバースなど、様々な情報を知った上で、困り感を抱える子供や保護者に接していきたいと思いました。
- 退職される先生に再任用や講師をお願いしても、ICTの活用に関わって苦手感が強いいため、働きたくないと言われる方が多くあります。ICT活用に関わっては必須だとは思いますが、何らかの手立て(サポート)が必要に思います。また、教職に就く以前の方には、学校の職員の一員として働くことの大切さを伝えて頂きたい。仕事をお願いしても、「それは自分の仕事ですか?」と言われ、なかなか仕事をお願いできません。県としての働き方改革を進めていってやることはよく分かりました。
- 動画にもあったように毎日様々な矛盾に対し葛藤の日々、しかし、待たなしで決断をしなければならぬ状況が続いています。本日の講演から解決に向かうヒントをいただきましたので、できることから実行してみようと考えています。ありがとうございました。
- 勤務時間削減と様々な教育課題への取り組みは、相反するものがありますが、全てを学校で抱え込むのではなく、地域・家庭・外部機関との連携を深めていくことが、問題を解決していくことができる糸口のような思いを持ちました。
- 教頭として、児童・職員が元気になるよう一人一人を大切にしたいと強く思いました。
- 貴重なお話を聞くことができ有り難く思います。学校の矛盾についてのお話では、矛盾について整理していただいたことで、矛盾が課題に変わりました。また、一人一人の命を大切にすることを、いつも心にとめて職員に声をかけたいと思いました。
- 元気が出る内容でした。
- 「学校の矛盾」という言葉にとても共感しました。教頭2年目になりますが、相反することを同時に指導し推進していかなければいけない難しさを日々感じています。保護者や地域からの要望や訴えも多様化すると同時に、学校教育に依存することが多く、学校でできることとできないことを明確にして対応していくことの難しさを感じています。多様な勤務形態については肯定し推進していきたいけれども、実際に人的配置が十分でなく、現場の教職員はなんとか学校が崩壊しないよう互いに支え合って踏ん張っているのが現状です。再任用教諭に担任手当をというけれど、通級担当が担任と同じかもしくはそれ以上の指導力を発揮して下さるのに担任手当の支給に該当しないのは残念です。自分が疲弊している中、教職員や保護者の相談に寛容な心で対応できていないのではないかと自省する日々です。自分はこの職に就いたとき、これからの若い人たちや子育て世代のロールモデルになって生き生きと仕事をしたいと思っていましたが、そんな自分になれているか疑問です。それでも「がんばる」で解決するのか不安です。ですが「必ずいいことがある」を信じて日々戦います。
- 当たり前だと思っていることは、当たり前でなく問題意識をもつことから、どこを学校のため、生徒のために改善していけばよいか、今後も考えていきたい。また、現状を把握し、いかに前向きに取り組むかが大切だと感じた。若い先生方が、日々悩みながら生徒と向き合っただけで勤務してみえます。若い先生と他の先生とをつなぎ、充実した毎日をおくれるよう今後も努めたいと思いました。

- 日常的に、職員から、子どもから、保護者(PTA)から、地域からの問い合わせや要望が絶えません。教頭の通常業務とイレギュラーな事案の対応に振り回されることもあります。香田先生からの「矛盾を乗り越え」という部分には強く共感を抱きました。指導体制の見直しや働き方改革の推進など、本校にいかせそうな多くのヒントを示唆していただきました。温かいメッセージを受け止め、県内の教頭先生方とともに頑張る気持ちで1年間頑張りたいと思います。
- 平素は大変お世話になっております。本校におきましても、安定した指導体制は学校課題の一つとなっております。教頭・教務が補充に入り、本来の業務は放課後に行うことは日常的になっております。しかし、なんとか担任の先生方が笑顔で子どもと向き合い、家庭のことも学級のこと心配せず業務に邁進してもらえるように取り組んでいるところでございます。また、困り感を抱える児童の学習保障も学校課題でございます。特別な支援を要する児童につきましては、通常学級の担任の先生方も指導のノウハウを学ばなければいけないと考えております。教師集団も含めて、一人一人を真に大切にしている学校かを自問自答しながら教頭としての職務を遂行して参ります。貴重なお話をありがとうございました。
- 日々直面している問題・課題に対して、岐阜県や国レベルの視点で見つめなおすことができ、参考や励みになりました。
- 教頭として、どのような視点で学校運営を考えていくとよいのか、大変勉強になりました。何よりも、香田義務教育総括監からの、温かい励ましにこれからの業務に「さあ、頑張ろう。」と思いました。
- 求められていることと現場で苦悩していることについて、総括監が理解してくださっていることが分かったことだけでも、大きな励みとなりました。是非とも、現場の困り感を解消するため、多様な働き方に対応するために、県全体で職員数を増やすことをお願いしたいと思います。ありがとうございました。
- 職員間の連携を図って問題解決にあたることの大切さがよくわかりました。
- 昨年度に引き続き、メッセージをいただきありがたいです。教頭の仕事は、本当に多岐に渡り何をどうすればよいのか迷います。しかし学校の教頭として行動していくことが大切であり頑張らないといけないという前向きな気持ちになれました。一人一人を大切にこれからも努めていきます。努めていきます。ありがとうございました。
- 学校内で起こる矛盾について、どう両立するか、様々な視点をもち方向を示していくことが大切だと感じた。
- 新任教頭として赴任にて3ヶ月。様々なことが押し寄せてくることを実感しています。初期対応を適切にすること、優先順位を見極めて対応していくことが大切であると日々思っているところです。ご講話を通して、さらに考えるとよい視点や新しい方法などを知ることができました。これからの業務を遂行する上で、今回のご講話で得た引き出しを活用して的確に対応していきたいと思えます。
- 「学校の矛盾」について、本当に日々自分が感じていることそのものであると感じました。特に「働き方改革」と「指導力の向上」については悩むことが多いです。指導に関して困り感のある職員に対して、組織で支え合えることや指導力を高め合えるようにしていきたいと思いました。また、「困り感を抱える児童生徒の学習補償」ということについても多様な対応が可能であることが分かりました。自校でも学校内だけでなく様々な機関との連携を図りながら、そういった子どもの学習補償に取り組んでいく必要があると強く感じました。ありがとうございました。

- ・教頭として、学校の矛盾を感じつつ、それでも子どもの幸せのため、職員の幸せのために自分に何ができるのかを考えている現状です。そうした現状を義務教育総括監の香田様が理解してくださっていることに何より感激いたしました。様々な工夫を示しながらご指導いただいたり励ましたりしていただいたことを心に留め、教頭というやりがいのある職をまたがんばろうという気持ちになりました。「教職魅力化」を推進していきます。ありがとうございます。
- ・社会の動向を踏まえながら、教頭の立場に立って、共感していただけることに感謝しています。大変分かりやすい内容で、勉強になりました。
- ・現在、若い先生が増えてきている状況で、どのように取り組んでいくと良いかが、参考になった。
- ・お話の中にあった学校の矛盾については、毎日の学校生活の中で感じているものばかりでした。しかし、その矛盾を感じながらも乗り越えていかななくてはいけないし、乗り越えるための具体的な手立てをそれぞれの学校の実情に合わせて考えていく必要があると感じました。先生からのエールをうけ、今後実践をしていこうと思いました。
- ・教頭の仕事内容は、本当に多岐に渡り、どんなことでも笑顔で対応しなければいけないことはわかっているが、大変なことも多い。課題も様々だが、ただ、児童や職員の安全や命を守ることは、細心の注意を払って行なっていかなければならないと視聴して改めて思った。
- ・様々な業務を抱えながら過ごす日々ですが、香田静夫先生の力強いお言葉を聞いて、勇気が湧いてきました。学校の矛盾を感じながらも、まずは子どもたちにとって何が大切なのか？先生たちにとって何が必要なのか？を常に考えながら矛盾を乗り越えていこうと思いました。メッセージをいただき、ありがとうございました。
- ・学校の矛盾を乗り越えるための工夫とこれからの社会に必要な教育の在り方について、説明していただきありがとうございました。新任地でわからないことばかりですが、周囲の先生方に教えていただいたり、地域の方に温かく迎えていただいたりしながら何とか毎日勤務している状況です。先生のお話を聞いて、様々な矛盾を乗り越えられるように自分自身が今後更に努力して行く必要性を感じました。励ましの言葉をいただきありがとうございました。
- ・日頃から感じていた矛盾だったので共感しました。また、様々な関係機関を活用することの必要性を感じました。ありがとうございました。
- ・香田先生の講話は、とても整理され理解しやすいものでした。実際、かつての学校とは異なり、多様な勤務形態があり、いろいろな立場の人も加わって児童に対応している感がある。一人で学級を抱えている感じがした前とは違い、学年で、学校で、適応指導の先生や相談室担当の先生、scの先生などが連携して児童に対応し、少しでも今の状態より良くしようとしている。教師側から考えても、学校も働く場として少しずつ働きやすい場となっているように思う。すべては、児童一人一人が、生きる喜びを感じ、生命の素晴らしさを感じながら自分を自己肯定しながら生きていけるようになることを願い、指導するしかない。頑張っていくしかないあとつくづく感じた。教頭として、学校の職員が一人で頑張っていると感じさせることなく、みんなで、児童を育てているのだ、と思うことができるよう働きかけたり、かかわったりしていきたい。
- ・本校における喫緊の課題は、先生がいないということです。基礎定数は満たしていますが、加配の椅子はあるものの埋められていない現状です。本務・常勤併せて50名・様々な働き方をする先生を合わせると70名を超える職員がいるので、研修・年休・特休等で休む先生がいるとそこを埋められないこともあるのです。さらにチームで問題

- 解決にあたることで時間に追われてしまいます。現場へ「工夫」という良い言葉で問題を丸投げしているようにしか思えません。まず、先生の数を増やすことを、県として具体的に進めていただきたいを講話を聴いて強く思いました。
- ・働き方改革、ICT 機器を活用した教育など、今の課題を解決するために、教頭として組織力や指導力が必要とされると考えている。「がんばろう！教頭先生」を心に取り組んでいきたいと思えます。ありがとうございました。
- ・本校の学校課題の一つが困り感を抱える子への支援です。特支・通級との連携や厚見型教育相談室の展開、学習支援ボランティアの拡充を今年取り組みとして動き出しています。道半ばですが問題行動の減少や不登校の減少につながってきています。「学校の矛盾」は肌感覚でも感じていますが、バランスよくハイブリッドで進めていければと思います。
- ・「学校の矛盾を乗り越え、新たな教育をつくろう！」まさに今私たち教頭が、中心となって取り組むべき課題についてわかりやすく教えてくださいました。慣例にとらわれず、優先順位と参加者をきめ出しながら、無理なく無駄のない学校運営を行っていくことの大切さを痛感しました。オンデマンド用の効果的なコンテンツを活用し、指導改善資料を各自が研修する等、校内研修の在り方も参集型からの転換の機会だとも感じました。勤務形態も多様化しています。学級担任も複数担任制、主任も複数主任制を取り入れることも今後検討していきたいと感じました。とにかく、教頭が明るく前向きに、元気に勤務することが学校の活性化に少しでもつながるのではと信じて頑張りたいと思いました。ありがとうございました。
- ・学校の矛盾を乗り越えるための工夫として、多くのヒントをいただけたと思います。「会議運営の最適化」などすぐにでも取り入れられそうなことも多かったので、学校の実情に合わせ今後提案していきたいと思いました。また、新たな教育の在り方について、困り感を抱える生徒の居場所づくりは、自分自身が知識や経験のないものも多く、迷いながらという部分もありますが、一人一人を大切にすることをこれからも考えていきたいと思いました。
- ・総括監ご自身が教頭の悩みを理解・共感して頂けたことで、日々の業務について安心感を持つことができました。
- ・まず、学校現場の矛盾を的確につかんでくださっていることに安心しました。本校は小規模・複式校であります。児童は少ないですが、1人の教員にかかる分掌は多くありません。1人が欠けるとその分のフォローは教務・教頭くらいしかできないので、教務が気を張って勤務していることに申し訳なく思っていたところです。幸田先生のお話から、職員の多忙感をやる気に変えるヒントをいただけたと捉えています。ありがとうございます。
- ・制度と現実の矛盾について、理解していただいている安心感があったこと、解決に結びついた事例を参考にしたいと思ったこと。
- ・特に最初の『教頭に寄せられる学校の矛盾』のお話の中の、『働き方改革の推進』と『教員の指導力向上』の両立については、なかなか、よい考えが浮かばず、一週間の中でも勤務時間の軽重をつけることや、今まである財産を有効に活用することやICTの活用などぐらいで両立できているという実感がなかなかもていなかったのですが、今回紹介していただけたことで、自校できそうなことを一つでも実践していきたいと思いました。子どもにとっても先生方にとっても学びと喜びがある学校を少しでもめざしていけたらと思います。
- ・学校の矛盾、先生方への話をするときの矛盾は日々感じているところです。相対するものも、子どもたちのため、先生方のためと考え日々取り組んでいます。そのような中で本日の講話を聞かせていただき、取り組むヒントが

多くありました。答えはすぐに見つかりませんが、子どもたちのため、先生方のため日々工夫を重ねていきたいと思えます。ありがとうございました。

- ・ 中学校の勤務で 45 時間/月、360 時間/年を自分を含め職場での取組がなかなか達成できないことが現状です。しかし、自分が若手教員であったころに比べると、ずいぶん減ったことに気づくことができました。もう少し、何かを見直すことができれば、もっと効率よく取り組み、負担なく達成することができるのではないかと思います。それが何かを早く見つけ、職場に反映することができるようにしたいと考えます。学力向上と問題行動への早期対応については、両立が難しいと考えがちです。しかし、問題行動への早期対応というより、未然に防止する指導を行っていくことで、学校も落ち着き、先生方の放課後の生徒指導の時間も減ります。そして結果として学力向上へと繋がっていくと考えられます。その、未然に防止する指導について職員間で共有したり、OJTによる研修でそのスキルを若手教員に伝えていくことを進めていくことが重要であると思えます。実際、メンター制度という声もありますが、若手と中堅が 1 対 1 が理想であり、そのペアの相性の組み合わせと大小さまざまな規模の学校に適しているかと考えると、メンター制が現実的ではないかもしれません。近年、新型コロナウイルス感染症への対策もあり、iPadをはじめ ICT 機器が 1 人 1 台という時代になりました。実際に機械を前にすると、教師より子どもの方が使いこなすのが現状かもしれません。それだけ充実した教育の可能性があることも事実です。また、いままで、不登校などで取り残されがちであった子どもへの教育の機会ができたことも事実です。通信制の学校が増え、関係が希薄になってしまうことも心配です。
- ・ 分かりやすい資料を準備してくださり、丁寧にお話しくださり大変勉強になりました。今、学校が抱えている問題や考えていかなければいけないことが明らかになっていて、視聴させていただいてとても有意義な時間が過ごせました。明日からまた頑張ろうという気持ちになれました。ありがとうございました。
- ・ 「学校の矛盾」ということに対する視点で、日頃自分が困っていることに対するヒント(工夫)をたくさん紹介してくださるお話で、参考になりました。今後の岐阜県の教職魅力化の方策についても知ることができ、よかったです。
- ・ 新任教頭として、学校の矛盾を日々感じていましたので、その悩みの解決方法・考え方を学び、明日以降の実践に活かしていきたいと思えました。子ども、職員を大事にできる環境が作られるよう、明日以降も頑張ります。ありがとうございました。
- ・ 日々の突発的な対応で、予定していた仕事が進まないことがあっても、笑顔で対応することを心がけています。教頭の立ち振る舞いは、職員のモチベーションに大きな影響を与えていると考えています。仕事の中での矛盾点は感じますが、ストレスにしないように教頭として仕事を進めたいと思えます。教頭同士で話し合える場を持つことが大切であると感じます。
- ・ 「矛盾を乗り越える」と講話にあったが、正にその通りだと感じている。しかし、そのことを先頭を切って行っていくのが教頭職だと考える。勇気を出して、精一杯がんばろうと改めて決意しているところである。
- ・ 教育課題に対する県教委の取組がよくわかりました。
- ・ 学校の抱える矛盾とその解消法について、大変分かりやすくお話ししていただきありがとうございました。
- ・ 変化の激しい社会の中にあって、現代の学校現場の難しさを日ごろ漠然と感じながらも、頭の中でうまく整理されずにいました。ご講話の中で「学校の矛盾」の3つの例を拝聴して、問題点の整理が促され、大変勉強になりました。このようにさまざまな事象や状況を整理して問いを

立てる力もまた、管理職にとって重要な資質だと感じました。教育問題の捉え方について重要なお示唆をいただきました。ありがとうございました。

- ・ 学校が抱える矛盾の中で、特に「働き方改革と教員の指導力向上の両立」について悩みとしてもっていました。主任を中心とするメンター制度はもちろん行っていますが、その時必要な研修をすぐに行いたい、と思っても時間が取れない悩みがあります。例えば、この研修のようにオンデマンド配信の動画による研修を行って感想を書いてもらう、というのも技術的に可能になっているので積極的に活用して実施したいと思いました。また、「多様な勤務形態と安定した指導体制の両立」の問題では、育短勤務職員の分掌事務を他の方にシェアすることは難しく教頭が代わりに行うようにしていましたが、校内体制の中で複数でシェアすることを積極的にやっていくべきであると理解することができました。様々な視点で学校が抱える矛盾についてご指導いただき、ありがとうございました。たいへん勉強になりました。
- ・ いつも教頭の立場に立ってお話をいただき、本当に励まされます。学校の矛盾は誰もが感じていることだと思いますが、それに対する具体的な手立てを示していただけことが本当にありがたく思います。ぜひ試してみよう、そんな気持ちになることができました。ありがとうございました。
- ・ 数々の矛盾を示したいただいたことで、改めて整理して取り組まなければいけないと感じました。
- ・ 学校には様々な矛盾があるが、取組の趣旨、全体像を理解して、職員へ周知徹底していくのが、教頭の役割だと思います。「がんばればいいことがある」を胸に、頑張っていきたいと思えます。
- ・ 県の具体的な取組について、わかりやすく説明していただき、ありがとうございました。今、直面している諸問題を解決していくための糸口となりそうです。
- ・ 私自身も矛盾を感じながら、工夫していかなければと考えていたので、大変参考になった。また、一人一人を真に大切に教育の真に大切にするという言葉が心に残った。いのちの教育を大切にしながら、子どもたち一人一人が、自分と他の命や心を大切にしながら、生きていく力を育てたいと改めて感じた。
- ・ 様々な教育課題があるが、組織として学校をまとめ、その要として対応していきたいと再認識した。
- ・ 今やっていることが当たり前ではなく、よりよい教育、よりよい学校現場をめざして、どんなことを変えられるのかという視点を常に持ち続けたいと思えました。
- ・ 香田先生の「学校の矛盾とその解決策」をお聞きして、特に「学力向上と問題行動への初期対応」について、まだまだ学校としてできることがあると考えさせられました。また、教職魅力化に向けて、養成段階や採用後の段階において、後輩のために学校としてできることを考えていきたいと思えました。
- ・ なるほどと思えることが多く勉強になりました。
- ・ 日々感じていた学校の取組と現実との矛盾を共感的に理解していただきありがとうございました。また、それぞれに対して細やかな取組事例を示していただいて大変参考になりました。ときっとよいことがあると信じてがんばります。
- ・ 教頭として、4年目になります。抱えている悩みは同じ、共有できます。前回同様、「頑張ろう！」という気持ちになりました。また、現在の問題や課題を具体的な資料を使って端的にわかりやすく説明して下さって勉強になりました。これからの実践に役立てていきます。ありがとうございました。
- ・ 昨今の学校現場が置かれた状況をよく理解していただき、その上でその状況に対してどのように対応すると良

いかを考える参考になりました。限られた時間とかぎら得た人材を最大限活かすことが教頭に最も求められる資質であることを、改めて実感することができました。

- 様々な教育課題を抱える中、教頭としての役割等を再度確認することができました。校長先生の学校経営方針等を受けながら、児童への指導並びに先生方への指導の充実を図りたいと思います。先生方一人一人が、子どもたちに寄り添いながら指導にあたる環境づくりに心がけ、動いていきたいと思っています。
- 教頭先生のところに寄せられる学校の矛盾について共感することばかりで納得して視聴させていただきました。学校教育の目的を端的な言葉で表すとしたら「社会的な自立」であると考えます。そのための手立てについて2つの矛盾した視点から具体的に説明いただきとても参考になりました。ありがとうございました。
- 一人一人を真に大切に、ということを目の前の子どもをイメージしながら講話を拝聴した。自分なりに先生方と力を合わせて実践していきたい。
- 本校の教員(教科授業をもつ者16名)の年齢構成はたいへんバランスがとれており、私が大切にしているメンター制も今では自主的に各自が実施する様子がある。今回の講話(ご指導)で、実践例を紹介していただき参考になりました。ちょっと気持ちがすっきりしました。また、「一人一人を真に大切に教育」では、将来を見据えた個に応じた指導が大切であることを再確認できました。現在、本校の職員は「生徒に教えるべきこと」を的確にできていない課題があります。特に発達障がい傾向の生徒については、間違った共感的理解を示してしまい、「自己指導能力」をつけるための指導が弱い実態があります。真に大切にするための教育を全職員で実践できるチームにしていきたいです。
- 新任教頭として赴任して3カ月。学校、生徒たち、先生方、PTA、教科指導、働き方改革、様々な書類作成など、とにかく聞きながらの悪戦苦闘の日々を送ってきました。「みんなでがんばろう！」という香田先生からのメッセージ・講話をいただき、今の職場や自分自身のことを照らし合わせながら勉強させていただきました。「働き方改革」と「指導力向上」、「学力向上」と「問題行動への早期対応」「勤務形態」と「安定した指導体制」など一見矛盾している両立の必要性について、実際の難しさを実感しています。また、近年ますます問題になっているいじめや不登校など困り感を抱える児童生徒「一人一人を大切に教育」について具体的にご示唆をいただきました。常に教頭としての立場における自覚と責任を強く感じながら、また、敏感に反応する様々なアンテナを張り巡らせながら、生徒たちや先生方に接していきたいと思っています。ありがとうございました。
- 毎日「19時には退勤」と声をかけることで、職員はやらなくてはならないことの優先順位をつけ仕事を進めてくれていて感謝しています。働き方改革の一番は学習指導や生徒指導などの力をつけることだと考えていますが、本日の講話の最初にあった矛盾そのものです。自ラ力を付けたいと思えるような働きかけを続けていきたいと思っています。
- がんばろうという気持ちになりました
- 教師が生徒のために行ないことは山のようにあり、どれも大切なことである。だからこそ、優先順位をつけるなどのコーディネートすることが大切だと学びました。
- 学校課題解決に向けたヒントをいただきました。
- 教職員の指導力・資質向上のためのヒントが得られました。メンター制度による支援体制、OJTによる日常的な研修体制、学校間連携(チーム)による相談体制、ICT活用による人的ネットワーク体制など有効に活用できるようにし

ていきたいと思いました。特にOJTという実践的研修は今の職員には必要だと感じました。

- ありがとうございます。今年から義務教育の教頭として中学校に初めて勤務しておりますが、自分にできることは何かと日々考えます。先生方に毎日元気に勤務していただくために、学校全体だけでなく、各先生方が抱える課題、その大きさに関わらずいつも寄り添い一緒に課題解決に向かって行きたいと思っています
- いろいろなことがあります。子どもたちのために、本校の教職員のために、がんばろう！と改めて思いました。すぐに結果や答えは出なくても、人とのかかわりを大切にしながら、努力していきたいと思っています。ありがとうございます。
- 岐阜県の子供や学校の状況をデータを通して知るとともに、教頭として必要な視点を与えていただき、大変ありがたかったです。自分自身を見つめ直し、まだまだできること、やらなければならないことがたくさんあることを痛感しました。教頭に寄り添う温かいお言葉もあり、改めて「がんばらなくては」と感じました。ありがとうございました。
- メッセージをもとに、学校の現状をよく把握しながら、学校のために力を発揮したいと思っています。
- とても参考になりました
- 教頭として大切なことを、多方向から教えていただきました。課題だと思えることはたくさんありますが、子供、保護者、職員のために努力していきたいと思っています。ありがとうございました。
- 特に「一人一人を真に大切に教育」について、「真に」という部分が大切であり、難しい部分であると感じました。これまでの学校教育から、どこにどのように切り込んでいくのかポイントを示していただき、大変参考になりました。今日的な課題も多く、新たな教育が求められている中で、教頭として自らの姿を通して伝えられるようにがんばりたいと思いました。
- 具体的に勉強になりました。
- 教頭として、これからの岐阜県の学校を支えてくれる若手教師がやりがいをもって子どもたちに接していけるよう、指導力とコミュニケーション力を高めていけるよう日々の実践の中で、手本を示し、実践させて褒め、新たな課題を見つけて、さらに改善し認めるというサイクルで育てていきたいと決意しました。
- 教頭先生のところに寄せられる学校の矛盾について、矛盾を乗り越えるための工夫「働き方改革の推進」「教員の指導力向上」の両立がいかにか大切であることを痛感しました。あれもこれもやるのがいっぱい毎日何をしていただのかと振り返る毎日ですが、先生方を守るために、働きやすい職場環境を作るために、現任校の実態をつかみ、優先順位、会議運営の最適化、ICT デジタル活用など、限られた時間の中で最大限できることを考えていきたいと思いました。また、多様な勤務形態の先生方が増えていますが、事情を理解すること、不安を取り除ける工夫をすることなど学校運営に支障がないよう、コミュニケーションを図りながら、組織でカバーできる職員集団の育成に努めていきたいと思いました。最後に、多様な子どもたちのために一人一人の学習保障、居場所づくりを他機関、関係諸機関と連携を図りながら、社会的自立に向けて関わっていきたく思いました。ありがとうございました。
- 学校の矛盾、たくさんあると思いましたが、香田先生が整理してくださったことで、どう工夫していこうかとじっくり考えることができました。私には、力がないので皆さんに助けをいただきながら一つ一つ取り組んでいきます。ご講演、ありがとうございました。
- 今現在、現場で悩んでいることを「矛盾」という言葉で言っていたら、さらに、その解決方法の糸口となる提案を

たくさん提示していただきとてもうれしく感じました。具体的に本校において何をどのように取り組んでいくことが必要なのか、優先順位も考えながら、今一度整理してみたいと思います。その際一人で悩まないこと、これが私の課題です。積極的に同校の教頭や近隣の教頭先生と情報を交流しながら前に進んでいきたいです。

- ・もう一息頑張っていこうと思いました。
- ・私たち教頭の立場を理解し、応援していただいていることがとても嬉しかったです。説明をしていただいたことも、取り入れている部分はありますが、日々やらなければならないことをやりきることで精いっぱい毎日を送っているのが現状です。学校として、働きやすい仕組みをどう作り上げていくのか、考えていきます。
- ・三つの指針を与えて頂きました。実践あるのみとおっております。
- ・「学校の矛盾」というお話は、「確かに、確かに」と何度も頷きながら聞かせていただきました。求められること、期待されることは、質的にも量的にも増える一方で、労務管理や若手の指導力アップを図ることは、簡単ではありません。しかし、教えていただいた「工夫」の中には、すでに取り組んでいることもあれば、今後取り入れていきたいこともあったので、是非活用していきたいと思いました。何より、先生方が明るく元気に勤務してもらえるようにすることが、自分の最優先課題なので、一人一人の様子をよく見届け、声をかけ、問題があればチームで早期に対応していくことで労務管理を図っていききたいと思います。
- ・教育の今日的課題を教えていただき、これからの学校経営に生かしていこうと思いました。ありがとうございました。
- ・本当に一人一人を大切にしてきたのだろうかと自問自答しながら頑張りたいと思った。
- ・働き方改革に行き詰っているところ、メンター制の導入など、具体的なお話をいただき、大変参考になりました。がんばろうという気持ちになりました。ありがとうございました。
- ・矛盾は本校だけでなく何処学校にもあることを改めて感じた。子どもたちに学力をつけること、社会貢献できる力をつけること、不登校・いじめの未然防止、、、などこれからの予測不能な社会を生き抜く子どもたちに付きたい力は限りない。教職員が力をつけ、それぞれの役割を果たしながら一丸となって取り組める職場づくりをしていきたい。
- ・特に学校の矛盾についてのお話は日々感じていることばかりでした。働き方改革を推し進めなければいけないのだけれど、免許更新制に代わる研修制度の実施や、人手不足の問題で、なかなか勤務時間を減らす工夫ができません。多様な働き方も大切だとは思いますが、それによって校務分掌に偏りができてしまいます。手詰まり感が拭えません。本日の研修で学んだことを活かしながら、実情にあった方法を模索しなければならないと考えられました。
- ・学校の矛盾に視点をあてて講話をされた部分に、共感しました。矛盾だらけですが、その中であっても、合意形成を図り、納得解を導き出せるように努力していきたいと思えます。
- ・学校の矛盾につきまちは、私自身も感じていることばかりです。若手を育てよう、職員全体でもう一度確認しようと研修を組みたいと思っても労務管理の面から組みにくい実態がありました。また、生徒指導事案が発生すると迅速に対応することが優先で、時には授業中であっても聞き取りをしなければならぬこともありました。研修については、もっとデジタル化を進めることや、生徒指導では素早い判断と組織や人材をフルに生かして対応にあたるなど、もっと私自身が知恵を出し、バランスと効率を

考えた動きをつくらなければと思いましたし、できそうです。また、子どもたちにとっての「安心・安全な居場所づくり」につきまちは、教育活動全般で考えていかなければと重く受け止めております。授業を核としてすべての教育活動の中で相手を受容する学校風土をつくるために尽力していこうという覚悟でいます。まずは管理職が職員を受容する。子どもたちに積極的にかわり、かわり方を示していくことを大切にしていきたいと思っております。どの学校も抱えている課題への取り組み方の工夫を教えてください、ありがとうございました。

- ・多くの課題が噴出しているこのご時世だからこそ、教頭がリーダーシップを取って学校を支えていくことが必要であることを改めて感じました。
- ・教頭の仕事は多岐に渡っていて、目の前の業務をこなすことに精一杯になってしまう。学校の矛盾を真正面からとらえてしまうと行き詰まってしまう事にもなるが、少し視点を変えて見ることで、新たな方法や工夫が生まれるものだと感じた。そのためには、教頭自身がアンテナを高くもち、引き出しをたくさん持っていることが必要になる。自分一人で解決しようとせず、いろいろな人や機関と連携し、子どもたちのこれからの姿を見据えて今をどうするかを考えていきたい。
- ・その日をなんとか凌いでいるというのが正直なところですが、今一度子どもたちと同時に教職員に目を向けて、働きやすい職場とは何か考えていこうと感じたところです。
- ・働き方改革を進める上でも、いじめの初期対応はいじめを重いものにしらない大事な視点であると感じた。また、会議の最適化はまだ考慮する余地があると感じた。今年、「ぎふ命の教育：学校版」の改定に取り組む予定です。勉強になりました。
- ・日々の業務に追われる毎日ですが、少しお力をいただきました。クリエイティブな教育活動を仕組めるよう、今後も励みたいです。
- ・初めての教頭としての勤務で見通しがもてないことが、校内の職員にたいしてたいへん申し訳ないと感じています。勤務時間、職員の健康、生徒指導や保護者対応など、すべての面でサポートしたいのですが、なかなかできていないのが本音です。少しずつしかできませんが、頑張っていこうと思います。
- ・今、私たちが置かれている現状を、分かりやすく教えていただきながら、教頭としての意識や配慮していく点を、具体的に学ぶことができました。特別支援を必要としている児童生徒たちに、社会的自立をする力をつけるために、私たちがすべきことを着実にしていく使命を感じました。
- ・会議の見直しなど考えていきたいと思えます
- ・県教育委員会の方針と重点を理解することができました。また、温かいメッセージをいただけ、やる気が出ました。
- ・様々な課題があるが、工夫して乗り越えていくヒントを頂いた。
- ・業務内容、勤務時間など、矛盾点のある部分について具体的に両立させる方法や優先順位を決める方法を提示していただきとても分かりやすかったです。頑張っていこうと思いました。
- ・命を守る教育を充実させること。子供たちが出すSOSを職員が共有し、よりよく対応していくこと。教頭に求められることも矛盾に、ひとつひとつ対応していこうと思えます。
- ・いの中の教育について、本校での実践に繋がるように配慮して対応したい
- ・「これまでの学校教育に対する問題意識」について印象的に聞かせていただいた

- ・日頃から矛盾を感じていたことからお話していただき、現場の思いをご理解いただいていることに感謝申し上げますとともに、矛盾への対応の仕方について多くのヒントをいただき、ありがとうございます。今後の実践についてすぐに行くことだけでなく、大局的に考えることを増やし、教員にとって働き甲斐のあり、児童にとって魅力のある学校づくりに少しでも貢献できればと思いました。貴重なメッセージをいただき、ありがとうございました。
- ・香田静夫総括監のお話をお聞きして、まず、頑張ろうという気持ちになりました。初めて教頭の立場で働く事となり、多忙感で一杯という毎日を過ごしています。今回、職員の働き方、子供達の学び方などの新しい仕組みや取組などを詳しく知り、新しい視点で考え、繋ぐ役割も頑張っているという気持ちになりました。ありがとうございました。
- ・様々な矛盾に共感できましたが、子どもたちのため、職員のために頑張ろうと勇気が出ました。再度、業務内容などを見直し、前向きに取り組んでいくと再度、決意することができました。
- ・現在の学校教育にかかわる課題について整理でき、これから取り組むべきことが明確になった。
- ・自分の知識不足、経験不足を日々痛感しています。
- ・さまざまな活動において矛盾と戦いながら、一人一人の子どもたちを大切にしながら教育活動を職員一丸となって進めていきたい。
- ・学校の矛盾という言葉は、新任教頭の私にとって実感のあるもので、講話のすべてが勉強になりました。特に「働き方改革の推進」と「教員の指導力向上」の両立は、本校の喫緊の課題として取り組みたいと思います。
- ・学校の矛盾を乗り越えるための工夫の内容は、まさにその通りで心苦しい状況にとても共感できました。
- ・なるほどと思う内容でした。矛盾について思うだけで何をどのように考えていけばよいのか思慮深さが必要であったと感じました。見方や考え方を深めることができたお話でした。ありがとうございました。
- ・もっと組織として動けるようにマネージメントしていきたいと思いました。
- ・業務改善方法について、県の取組や他校の実践を参考にしながら、取り組みたいと考えました。「一人ひとりの子供を大切に教育」はどうあるべきか、現代の教職員のライフスタイルにも合わせて、改善策を考えていきたいと思っています。
- ・学校現場において直面する「矛盾」に対する手立てが、たくさん示されていたので、選択肢として記録しました。自校や私自身の仕事の仕方の実態を把握し、それに応じて見直す視点としたいです。そして、何よりも「これまでの学校教育に対する問題意識」についてお話を聞いたことが、私の中ではとても大きく、励みとなりました。これまでの日本における学校教育の在り方や、教員の意識改革につながる示唆をいただいたと感じていますし、前向きに取り組んでいける勇気をいただけました。「誰一人取り残さない」ために教員、保護者、子ども自身、そして社会、それぞれの意識の変革が必要だと感じています。変革には壁はあるでしょうし、大きなエネルギーが必要ですが、少しでも、その子自身や保護者や先生方、社会の役に立てるように、私なりに尽力していきたいという思いになりましたし、夢をもって歩んでいきたいと思いました。ありがとうございました。
- ・本年度も学校現場を取り巻く状況にかかわって、お話を頂き大変勉強になりました。特に、本校にも関係するところで「働き方改革の推進」「教員の指導力向上」について、現在取り組んでいる方法や方向で間違っていないと思わせて頂きました。若手職員の多い本校において日頃から中堅教師がサポートできる体制づくりに努めております。ま

- た、市で導入してくださっている「遠隔システム」を活用した教科部会など、他校とも連携した人材育成の仕組みを構築しています。小規模校であるが故の一人当たりの校務分掌の多さによる負担感もありますが、職員同士でサポートできるように、日頃から良好な職員の関係づくりや「SOS」や「HELP」が発信できるような職員室であるように努めていきたいと改めて考えました。貴重なお話をありがとうございました。
- ・香田先生のお話をお聞きするといつも元気をいただくことが出来ます。教頭として学校の矛盾を紐解くように一つ一つ整理してお話をさせていただくことで、自分自身も頭の中が整理できたような気がします。特に今直面している不登校児童の問題は、何とかして居場所づくりと学習の機会、学習の保障をしてあげたいと思いました。また、先日岐阜県の教員採用の倍率が少し増加したとのニュースを見ました。それは、奨学金返還補助制度も関わっているとのこと。ぜひ、岐阜県の教員志望者が増えることを願います。そうすることが、岐阜県の子どもたちのためになるとせつに思います。最後に「がんばった人には必ずいいことがある」自分自身にも職場の先生たちにも、そして子どもたちにも伝えていきたい言葉になりました、ありがとうございました。
- ・1学期間、うまくいかないこともあり心の中で閉塞感を感じてしまう時もありましたが、香田先生のお話の中にあつた「学校の矛盾」という言葉にもともと矛盾するものに少しでも改善策があればと仕事をしていんだと気づきました。生徒指導上の問題等うまくいかないこともあります。明日からもう一度がんばってみようと思えるお話でした。また岐阜県としての方向性が分かり聞いてよかったと思える内容でした。ありがとうございました。
- ・若手教員が多く、色々な手立てを工夫していますが、なかなか成果が表れてきません。資料4ページを参考に、後期から取り組めるものを夏休みに検討したいと思います。
- ・学校を変える事は、一人でもできるんだということをひしひしと感じました。私と同じように悩んでいる仲間がいることがわかりました。
- ・元気がでる話でうれしかったです。
- ・学校現場で行き当たる矛盾については、大変共感を覚え、それを乗り越えるための様々な取組の中に、いくつか「やってみよう」というものがあって、大変勉強になりました。また、本当に一人一人の子どものための社会的自立の力を身に付けさせるために、学校で行える教育の限界の向こう側に、例えばSCやSSWの活用・連携だけではなく、フリースクールや不登校児童サポートセミナー、ほっとプレイスなど様々な救いの手が設置されている現状を知ることができました。教職員の魅力については、生き生きと笑顔で働く教員の姿を日頃から児童の前で見せ続けていくことや、児童たちにも折を見て教員の魅力を伝えていくことはとても大切だと改めて感じました。教頭として3校目の新任地での勤務にあたっている私にとって、大変元気の出るお話を伺い、とても感謝しています。ありがとうございました。
- ・香田先生のお話をお聞きしながら、日頃漠然と感じていた学校の抱える矛盾について整理することができました。この矛盾を少しでも解決できるよう、できることから取り組んでいきたいと思いました。
- ・特に前半の内容である学校の矛盾については、今後の方向もご示唆いただき参考になりました。ありがとうございました。
- ・具体的な資料をもとにお話いただけたので、分かりやすかったです。
- ・教員の働きがいを生み出すことが、先生たちの担任である私の責務であり、そのために大切にすることを再確認できました。



- ・働き改革もしたいし、若い先生方のために研修もしたい。そう思いながら過ごしていましたが、香田先生のお話を聞いて、まだまだ自分が実践していない方法があることを改めて感じました。これから、働き方改革と教員の指導力向上を目指して、積極的に取り組んでいきたいと思えます。ありがとうございました。
- ・今日的な教育課題や教頭としての頑張りどころを確認できるいい機会となりました。ありがとうございました。
- ・「教頭先生のところに寄せられる学校の矛盾」についての具体例については、全くその通りの悩みを常に感じています。学校の中でもいろいろ対策を考えていますが、教員の数も減り、教頭の空き時間もない中で、新しい策を考える時間もないのが正直なところです。。いろいろな勤務態型の働き方にしても、たくさんの講師や非常勤、時短など、すべての職員が全ての先生の勤務時間や勤務条件を頭に入れているわけではなく、その指導にも時間をさかれるなど、細かい配慮をたくさんすることにも時間がかかります。1 番の悩みは、様々な勤務形態で、学年のい担任が全員揃う時間がない中での共通理解です。意外とむずかしいです。本校の先生たちはみんなやる気で元気に頑張っているのので助かっています。今後もそのやる気を大切にしながら、さらに指導力を向上させるために、頑張っていきます。
- ・様々な立場や働き方を要する現在の学校現場において、メンターや OJT など必要に応じた研修を行い適材適所の活躍をしていただくことで学校現場により活力が生まれるということをかんじました。
- ・学校を取り巻く矛盾についてわかりやすいお話だった。様々な矛盾と向き合いながらも今求められているものを見失わずに取り組んでいきたい。本日はありがとうございました。
- ・香田先生からの温かい言葉とともに、現在の課題等について具体的に話していただき、自校のことを考えながらきくことができました。
- ・ご多用の中ありがとうございました。学校が抱えている今日的な問題点や矛盾点を明確にさせていただきました。矛盾点は、車の両輪のようにバランスを大切にしながら解決していくことが大切であることを、あらためて確認することができました。今後の方向性についても、ご示唆をいただき大変参考になりました。魅力ある学校にするために邁進したいと思います。
- ・「一人一人を真に大切にできる教育」のために、教頭として「何をこそ」大切に、どのような連携や取組をしていくとよいのか、その方向性についてのヒントをいただけたと実感している。個人的な忙しさに忙殺されるのではなく、子どもたちの成長を喜べるような心の余裕をもって日々の学校生活に邁進していきたいという思いを強くもてたことはありがたい。大変貴重なご高話をいただき、ありがとうございました。
- ・「学校の矛盾」という言葉、ズンとききました。今まさに本校でも OJT による若手教員の育成を進めているところです。日々、「え？なぜそうなるの？」「それ、おかしいと思わない？」「なぜそんなこと言った？」など、思いもしないことを若手教員が行います。予想もできないことが起こるため、事前に手を打つ、指導する、ということの難しさを感じています。また、本校では教員5年目の者も2人、学年主任をやらざるを得ない状況となっています。本来ならまだまだ彼らも主任からいろいろ学ばなければならないのに、と思うと申し訳なくも思います。そのため、学年主任の中で学び合う、という会を設けていますが、働き方改革と逆行しています。それでも学び合う職員集団、自己向上し合うことを弊に感じて頑張ってくれる職員たちに感謝しながらも、教頭として働き甲斐のある職場づくりに

尽力したいと思いました。本日はありがとうございました。

- ・学校の矛盾の中で、いかに学校運営をしていくか、折り合いをつけていくか、日々悩んでいることです。そういった学校の立場を理解いただき、お話をくださったことを大変うれしく感じました。実際に難しいと感じながら取り組んでいることばかりですが、うまくバランスを取ってがんばっていきたいと感じました。また、やはり先生は魅力ある仕事であると感じ、自校の先生方が、より一層、自信と誇りがもてるように頑張っていきたいと感じました。ありがとうございました。
- ・教頭先生のところに寄せられる学校の矛盾という内容から、悩んでいるのは自分だけではないのだと心強く感じました。その中で、何を優先していくか、何を職員や子どもに伝えて行くか自分がしっかりもっていかなくてはならないと思いました。限られた勤務時間の中で高めあえる職場がつかれるよう頑張ります。最後の頑張った人には良いことがあるというメッセージに元気づけられました。ありがとうございました。
- ・貴重なご講話ありがとうございました。喫緊の教頭としての大切な役割を改めて認識することができました。その中でも、実際にどの子ども大切にするという観点から様々な学びの保障の仕方があることを学ばなくてはならないと思います。AI が発達している昨今においてどのような力をつけていくことが必要であるのかを考えるとともに、私自身が情報として持たなければならぬことを教えて頂きました。働き方改革が叫ばれる中でも事実をとらえた上で職員に伝えていく必要性を感じるとともに、緊急性の高い事案をどれだけ組織的に迅速に対応するかがしいは働き方改革に繋がっていくことを教職員の方々に伝えていくことが大切だと感じました。そして、学校の中には支えてくれる人が必ずいることも私自身が感じたことを生かし、伝え続けようと思います。
- ・様々な解決すべき学校の課題が山積して、心が疲れることがあります。「～すべき、あらねば…」から発想を転換させて、柔軟にこれなら出来るかもと前向きな気持ちで解決に当たりたいと思いました。また本校の先生方がチームという気持ちで業務にあたれるよう人間関係の醸成にも努めたいと思いました。
- ・学校の矛盾を乗り越えるという言葉に、確かに矛盾が多い中、いかに学校運営が校長先生のビジョンに近い状態で進められるかを考え、教頭が職員をかじ取りしていかなければならないと改めて感じました。超過勤務の減少と職員の資質向上、いのちの教育を充実させていくこととそれにあたる人材の質的・量的不足など数多くあることを改めて感じ、一層の工夫をするために、他の教頭先生方の知恵を借りていくことも大切だと感じました。
- ・今回の講話にて話されたように、相反する事案についての対応を求められる大変さや苦しさが教頭にはあると思います。しかし、お話にあったように、矛盾を乗り越える工夫を学ぶことができました。校長先生の理念の実現を目指し、子供たちが笑顔で登校できる環境を創り上げられるよう尽力していきます。本日はありがとうございました。
- ・改めて現在の学校が抱えている課題の多さを認識するとともに、教頭として自校で取り組めることは、まだまだあるのではないかと感じました。
- ・本年度より新任教頭として赴任し、まだまだ日々の業務への対応がうまく回っていないのですが、そんな自分にとって、目を向けていかなければならない点・視野を広げなければならぬ点等、ご教示いただけました。ありがとうございました。
- ・「職員が明るく働ける職場となるよう努めよう！」と思いました。

- ・「教頭に寄せられる学校の矛盾」については、実感するものばかりでした。先生方が少しでも気持ちよく勤務し業務に当たれることが、児童生徒の学びや安心・安全につながっていくと考えます。そのためにできることを考え、取り組んでいきたいと思いました。特に、問題行動においては、優先順位を考え、効率的で効果的な対応ができるようにしていきたいです。また、「一人一人を真に大切にする教育」については、今まさに直面していることが多くあります。児童生徒の困り感に寄り添える教育を学校全体で考えていくことが必要不可欠だと改めて実感しました。ありがとうございました。
- ・香田先生のお話からとても元気が出ました。「学校の矛盾を乗り越えて」という実際にあるお話でしたので、とても分かりやすかったです。教職員、生徒、保護者、地域、関係諸機関等、何を大切にするか調和を図りながら調整していくことができる教頭でありたいと思いました。ありがとうございました。
- ・今年度より教頭として勤務が始まりましたが、「働き方改革とやらなければならない仕事量の矛盾」、「学力向上と問題行動対応の両立」、「教員不足」等、日々どうして言ったらいいのか悩みながらの毎日です。その中で、幸田先生のお話から、仕事の内容を理解し、整理して優先順位を付け、日常の業務の中に工夫してはめ込むことで、克服していけることもまだまだ沢山あると感じました。一人一人を真に大切にすることを意識しながら、「がんばった人には必ずいいことがある」という言葉を支えに、日々の職務に当たっていきたく感じました。ありがとうございました。
- ・学校が抱える矛盾について、具体的な策をもって学校運営に当たるべきだと考えた。私たち教頭のアイディア次第で、働きやすい環境が作れるのだと改めて考えた。
- ・香田先生のお話を聞かせていただくと、いつも「よし、頑張るぞ」という気持ちになれます。毎日のコミュニケーションを大切に、いろいろな勤務形態の方たちと協力し合っ、日々の難局を乗り越えていきたいと思っています。
- ・がんばった人には、必ずいいことがあるというメッセージ本当にありがたく頂戴いたします。働き方改革を進めつつも指導力向上については必要なことであり、若手教員の教師としての力量アップする意欲や意識向上ができるようサポートしていくよう努力したいと考えます。岐阜県の現状からのご講話をいただき、自分自身何ができるのか、何をしなければいけないのか考えるよい機会になりました。
- ・「矛盾」という形でまとめていただき、現在の学校現場で課題となっていることについて改めて考えることができました。特に、様々な勤務形態で働く先生方が増え、今後の学校運営の方法をどうしていくのか、と考えていましたが、外部人材の活用であったり、複数での分掌担当を考えるなど、工夫する部分があることが実感できました。校長先生の方針のもと、そうした運営の方法についても検討していけたらいいと思いました。そして、まだまだいろいろなことを学ばなければならない、とも感じました。ありがとうございました。
- ・「がんばった人には、必ずいいことがある。」応援メッセージをありがとうございます。矛盾のある課題に対して、現状の学校の中で、どのように解決していくことが子ども達のためになるのかを常に考え続けています。本動画の3つの矛盾に対して示していただいた、考えていく方向や視点をもう一度、現任校の状況と照らし合わせながら、できることから取り組んでいきます。また、一人一人を真に大切にする教育では、「ぎふ いのちの教育」の自校の実践状況を確認、教員の側から見た取組になっていないか、「真に」一人一人を大切にしているのだろうかと問いかけながら、取組の見直しをしながら、「明日が待ち遠し

- い」と生徒が思える学校づくりを行っていきます。ありがとうございました。
- ・学校の矛盾について県教委として把握していただいでいて、その解消方法をご示唆いただいたこと、大変参考になりました。現場の状況に応じて取り組んでいくべきことでしょうか、「複数学級担任制」は、次年度からの採用を検討し校長に具申してみようとするきっかけとなりました。また、「一人一人を真に大切にする教育」について。本校でも古い感覚を拭いきれない先生方が、児童とうまく行かずストレスを抱えている状況が生じている実態があり、寄り添って指導感を変えていこうよと伝えているところです。プレゼンの画面も資料として提供していただいでいるので、職員研修にも活用させていただき、焦らず地道にコツコツ進もう、頑張った人には必ずいいことがあると職員を励ましていきます。ありがとうございました。
- ・教頭の職務はあらためて大変だと感じました。
- ・日々、矛盾を抱えています、折り合いをつけながら進めて行くのが仕事だと思っています。一人一人を大切にすることはいろいろな側面から考えることができそうなので、関係諸機関と連携を取り合っ進めていきたいと思っています。
- ・まさに今、いじめ対応や不登校対策に追われてるところに、その解決に向けた様々な視点からの手立てやヒント、そして何よりも「がんばった人には必ずいいことがある」という温かい励ましの言葉が大変心にしみました。これでもうひと頑張りできそうです。ありがとうございました。
- ・教頭となって、日々寄せられる学校矛盾と戦う日々ですが、「子どもたちを支えたい」と願い教員になったあこの気持ち忘れず、今後も自分にできることを一つずつしていきたいと思いました。体調管理には十分気を付けていきたいと思っています。
- ・一つ目の話の「教頭先生の所に寄せられる学校の矛盾」については、共感できました。特に職員の熱意を引き出す職員指導と労務管理の両立は、なかなか難しさを感じていますが、OJTや相互補完を進めながら、取り組んでいきたいと思っています。二つ目の話の「一人一人を真に大切にする教育」については、現任校においても不登校生徒が多く、対応の難しさを感じています。現在不登校の生徒に対する対応はもちろんですが、未然防止としての魅力ある学校づくりやいのちの教育にも前向きに取り組んでいきたいと思っています。
- ・様々な困難を抱える教育界の中で、教員志望者が減っている現状があります。給与や勤務時間など様々な原因があります。そんな中でも、「岐阜清流教師塾」や「任期付き採用の改善」など、様々な工夫をしていただいでいることがよくわかりました。世間ではブラックなsどと言われていますが、私は、こんなに魅力があり、達成感、喜怒哀楽のある仕事は他にないと思っています。その魅力を若い先生に伝えていく使命があると再確認できました。ありがとうございました。
- ・動画が再生できなく、資料だけの感想になります。これまでの「学校教育に対する問題意識」は、美濃市全体で取り組んでいます。職員の多くは改善しなければと思っています。ですが、どうすればの具体がなかなかできません。何事も挑戦してみることを大切にし、学習や学校運営を改善していきたいと思っています。
- ・教育課題の解決、教職員の働き方改革や指導力の向上など、多岐に渡る問題を解決していく方途として、「他機関との連携」が大切であると感じた。教職員、保護者、地域を総動員する必要があり、その舵取りをするのがこれからの教頭の役割であると感じた。
- ・働き方改革については、大胆な取組と小さな取組の両輪で進めていきたいと思いました。職員会議が2か月に1回となった分、打合せの時間が大幅に増えてしまうといった

- こともあるので、取組を見直しながら改善を進めていきたいです。勤務の多様化については、保護者の理解も得られるようにしていきたいと思いました。今後も、様々なところで新しい形の教育が取り入れられていくこととなりますが、教育は子どもの幸せのためにあるものだとすることは変わらないと思います。子どもたちの幸せを願い、教頭として何をすべきか考え、頑張っていきたいです。
- とてもわかりやすいお話をありがとうございました。日課の見直しはしました。どうして必要なのか、必要でなければ無くて、という勇気が必要だと思います。免許のない人でもできる仕事を振り分けるというお話もその通りだと思います。ただボランティアに頼ることもどうかと思うので、仕事おしてやっていただける方をさいようするひつようがあるとおもいました。
  - 学校の矛盾は、まさに感じているものでした。子どもや職員にとって大事なものは行い、そうでないものは削除していくことを常に考えていきたいと思っています。子どもや職員が笑顔で学校生活を送ることができるよう、自分自身笑顔でがんばっていきたいと思っています。
  - 「本当に1人1人を大切にしているのか」改めて自分に問い返してみると、児童にも職員にも保護者にも、そして、自分や自分の家族にも出ていない部分が多々あったように思います。すべてに力を注いでとはいかないかもしれませんが、自分でできること、組織でできることなど、方法を考えながら、1人1人に目を向け、関わり、改善していきたいと感じました。特に子どもたちへの「学習機会の提供」については、きちんと行っていきたいと思いたす。
  - 学校の矛盾を整理してお話いただいたことで普段感じているモヤモヤ感がスッキリしました。また、それに対する具体的な手立ても整理してお示しくださったので、今後の対応についてもよいヒントとなりました。特に「働き方改革の取組」と「人材育成」については、日々頭を悩ませている部分ではありますが、日常的な働きかけや現行の取組など裏付けになる部分もあり少し気持ちが楽になりました。／教員の確保についても様々な取組が推進されていることが分かりました。教員の魅力の発信で新規採用者の発掘確保、再任用職員への支援策など、少しでも現状の教員不足の解消にむけて取組に感謝いたします。と同時に、教員になる動機にあった「生活の安定」も今は大きいとは思いますが、やはり第一は「子どもたちと関わる」職業であるということをお願いしたいと思いました。現役職員からはなかなかそこに専念できない分掌事務や時間的な余裕が生み出せない窮屈さについては、意見が寄せられることがあるので、「こんなはずじゃなかった」という思いをもたせないよう努めなければと感じました。／子どもたちの実態や取り巻く環境の変化に応じた教育の在り方については、従来の学校の考え方を大きく変えていく必要があることも感じる事ができました。学校の一丁目一番地の使命の土台には「安全・安心」があります。そのためにも、「いのちの教育」は、学校教育の基盤であると再認識いたしました。ありがとうございました。
  - コロナ禍が収束に向かい始め、学校の新しい動きを模索していかなければならない現実を受け、なかなか見通せないところもあり不安がいっぱいです。しかし、だからこそ新しい意識を持つことや新しいつながりを形成し、学校の方向を定めていかなければいけないんだなと思いました。子どもたちも多様化し、対応に苦慮することがあるけれども、今まで思いもしないようなアイデアで学びに向かうことができるかもしれないので、その一助になっていく先生方が増えるといいと思いました。
  - 教頭に寄せられる矛盾した課題について、様々な取組の視点を確認することができました。日々生徒指導や支援を要する児童への対応に追われている先生方が働き甲斐

- を感じ、笑顔で児童と正対できるよう、「常勤にとらわれない分掌」「勤務形態に配慮した計画的な人事配置」など即、工夫できることについて見直ししていきたいです。また、誰一人取り残さない教育の実現のために、教職員で共通理解を図り、個に応じた対応ができるよう体制を整備し、見届けをしていく所存です。
- 日々の業務の中で感じていた様々な矛盾について、具体的なご示唆をいただき、優先順位をつけて判断するときに今までよりも自信をもって行おうと思いました。心強いメッセージをありがとうございました。
  - 本校も育短、部分休、他校との兼務の職員を3人担任制を実施しているが、3人で共通理解して進めることが難しく試行錯誤している状況である。職員会に出られない職員にどのように周知していくかということも課題である。学年会を時間割上に位置付けているので、いかにそこを充実させられるかがポイントだと思う。それぞれの学年部で十分に細部まで話し合われ、見通しがもてているのかを見届けたり助言したりできるようにしたい。
  - 今一度誰一人取り残さないとは言うけれど、本当に子ども一人一人を大切にすることをしてきたのだろうかと考えさせられた。特に困り感を抱える児童生徒の理解をさらに努めていけるようにしていきたい。また、教員として子どもたち一人一人の成長への喜びを実感できるような職員集団に高めていけるように教頭として責任をもって業務を遂行していきたい。
  - 今抱えている矛盾に目をそらさずに正対し、少しでも乗り越え前に進みたいという気持ちになりました。ありがとうございました。
  - 矛盾についての見解が興味深く、共感しました。「
  - 学校職員みんなで乗り越えるには、まだまだたくさん知識と実力が必要だと思います。ありがとうございました。
  - 自分も含めて、教職員が「働きやすく」「働きがい」の両面を感じられる学校をつくりたいと考える。そのためには、個業ではなく、協働を大切にすること。校内の組織と地域を巻き込んだ学校のマネジメントが大切だと考える。また「ぎふいのちの教育」についてはかけがえのない命を精いっぱい輝かせることのすばらしさを体験させられる学校でありたいと思った。そういう体験が生きる喜びとなると考える。
  - 教頭に寄せられる学校の矛盾をどう乗り越えるか。特に勤務校において必要だと感じたのは、ojtによる日常的な研修体制が有効であると感じました。また、も雲台行動の初期対応については、組織的にかつ機能的に昨日しているということを改めて実感することができました。
  - 日頃から自分なりに頑張っていることはあるが、なかなかうまくいかないことが多くあります。ただ、子どもたちのために何をするといいのかを常に考え、子どもたちの笑顔や、頑張っている姿を見ると救われます。これからも、自分一人だけでなく、チーム学校として子どもたちを支えていきたいです。
  - 今後の、学校教育が発展的に充実していくために、様々な取り組みが為されていることがわかりました。次代の子供たちのために、大きな目的を踏まえて、教職員を指導したり、労務管理をしたりすることが大切であると感じました。目の前の子供や職員を大切にすること、何年後かの学校が今よりもよくなるために取り組むことを意識して、また、それが自身のモチベーションにつながるとよい目的的に教頭職の業務に取り組むことができると考えました。ありがとうございました。
  - 生徒も先生も元気になる学校にしていけるように頑張っていこうと思いました。教員が元気に過ごせることは、生徒の幸せにつながるの、いろいろな矛盾があります

が、教頭としてできることを今後も工夫をしていきたいと思ひます。ありがとうございました。

- ・職員のため、子どものため、よりよい学校にしていくためには、より一層の工夫が必要であることは重々承知しているところですが、今回のお話と資料から、多くのヒントをいただけたと感じております。これからも精一杯努めていきたいと思ひます。
- ・一人ひとりを大切にしたい教育という点で、児童理解を保護者とともに進めながら、子どもたちの成長に向けて、職員と一緒に学校生活づくりを行っていきたく思ひました。その中で、先生方の仕事のやりやすさにつながるよう努力していきたく思ひました。
- ・教頭としての業務を遂行するにあたり、様々な矛盾がある中で、そこに折り合いをつけながら行うことには困難さも伴いますが、本日のご指導にあったような矛盾が起こりうる事柄の整理が必要であることを感じました。その上で、本日ご示唆いただいたような具体的な手立てについて考えていきます。
- ・コロナへの対応が変更になり、学校の活動も変化していく時期になります。様々な活動を精査し、できること、やれることを進めることが大事です。教頭としてリードしたりフォローしたりしてそれぞれの職員と連携していきたく思ひます。
- ・いつも大変お世話になっております。今年度より初めて教頭職につくものです。慣れない業務に追われ、自身の職について学んだり、考えたりする機会があまりない中、このようなお話を聞く機会をいただき大変うれしく思ひます。教頭に寄せられる矛盾に対してどのように対処すればよいのか、多くのヒントをいただくことができました。香田先生よりいただいた温かいメッセージで明日からも「がんばろう！」という気持ちになりました。どうもありがとうございました。
- ・教員を目指す若者を増やせるようにするためにも、勤務状況の改善は優先課題であると感じました。
- ・新任教頭です。不慣れなことに翻弄される毎日ですが、気持ちにゆとりが出てくると、「おや？」と思うことにも出会うようになりました。そんな中で、「学校の矛盾の壁を乗り越え、新たな教育を作ろう」の講話のサブテーマは大変共感できるものでした。これを実現させるには、自身の心身の安定と創意工夫する意欲が不可欠であると感じました。
- ・労務管理については、現在行っていること以上に幅を広げることができると考えることができました。また、問題行動事案等矛盾を乗り越えるための視点が明確になった。
- ・今年度からの新任教頭です。今まさに悩んでいることについてお話を聞くことができ、ありがたかったです。業務はこれ以上減らせないと思ふが、時間外勤務はなかなか減らないという現状について、両立のヒントをいただきました。育児短時間勤務者がいますが、周りに理解をしてもらいながら気持ちよく勤めていただくにはどうしたらいいか。増えていく不登校傾向はうちの学校だけではない、大きな課題であること。等、今抱えている悩みについてたくさんの方のヒントをいただきました。児童だけでなく、職員が元気に楽しく学校に来られるように頑張りたいと思ひます。ありがとうございました。
- ・具体的にどのようなことを実践していけばよいか分かりました。毎日、いろいろな案件があつて疲れてしまひますが、力になりました。
- ・学校が楽しいと先生も子どもも言える学校づくりをしていくことが大切だと思ひました。そのためにも、教員同士が学び合える研修体制の構築や会議の持ち方を根本から大胆に見直すことを、まずは取り組んでいきたく思ひます。

- ・本気で、「一人一人を真に大切にしたい教育」を展開していこうと心に誓ひました。
- ・教頭となり、働き方改革を唱えながら学校体制を見直したり授業の質を高めたりすることの矛盾や難しさを感じていました。「教頭先生がいてくれたから学校が楽しくなった。」「教頭先生がいてくれてよかった。」と言ってもらえるような仕事をしたいと改めて思ひます。
- ・本校も多様な勤務形態で働く仲間がいます。午前と午後で担当が代わりますが、午後から担任をする職員は本来の職と兼ねることとなります。一部の職員への負担増加、時短勤務する職員との情報共有等、実際に働きながら解決していかなければならない課題を発見し、その解決に向けての最適解を考える毎日です。まずはやってみます。
- ・日々、悩みつつ行っている業務ですが、お話をお聞きし、元気がわいてきました。昨年度もそう感じたことを思ひ出します。働き方改革での、教頭の複雑な立場にも、何か少しでも改善できるようにがんばってみようという気持ちになりました。今の学校には、様々な働き方の教員がいます。育児短勤務などが増え、その空きを埋めることや、病休の先生の後を誰が行うかなど、学校の大変な状況がありますが、だれもが働きやすいようにしたいという願ひをもち、業務を行っていきたく思ひました。
- ・多くの同僚が教頭という立場で頑張つちること、悩みながらも前向きに働いていることがわかりました。お互い横のつながりを大切にして助け合うことの必要性を学びました。
- ・貴重なお話ありがとうございました。学校の矛盾は、学校や個人の裁量で簡単に解決できないと感じています。特に働き方改革、45 時間にこそ矛盾を感じ、苦しんでいる教頭は多いと思ひます。それでも頑張るしかありません。
- ・「ぎふ いのちの教育」学校が楽しいと思ってもらえるよう、職員一同頑張ります。「頑張った人には、必ずいいことがある。」と信じて。
- ・年度当初に学校長より出された学校経営方針に基づいて進めているところです。まさに、矛盾した場面に直面しながらも、最終的に将来的に児童や教職員にとってよりよい選択をしていきたいと改めて感じました。児童がそうであるように教職員もまた多様であり、一人一人「そう在りたいけれど、すぐには変えられない」「変わることに對する不安」などの想いを抱えながら勤務しています。ときに、それは若手教員以上に中堅教員の方が不安であったり、負担になつたりしていると思ひます。そうすることの良さ、少し先を行く者として、そうすることの心地よさを自らが見せていきたく思ひました。
- ・「教頭先生のところに寄せられる学校の矛盾」を聴き、どの教頭先生も同じような思いをしていることが分かり、少し気が楽になりました。そして、「学校の矛盾を乗り越えるための工夫」を紹介していただき、「こういう方法も可能なんだ」と、新しい発見がありました。やはり、一人では解決策が思ひ浮かびませんが、こうやってご指導いただくことで、希望が持てるようになりました。最後の「がんばった人には、必ずいいことがある」という言葉を信じてこれからも頑張ろうと思ひました。ありがとうございました。
- ・現場のことを気にかけていただけることがありがたいです。
- ・コロナ禍の影響、教師の働き方改革の推進で、形骸化した学校教育になっているのではと反省します。児童も教師も大切にされるそんな魅力ある学校を目指したいです。
- ・応援していただいて心強かつた
- ・今現在、学校現場に求められていることや、現場の状況等がよくわかりました。労務管理について、効果的な初期対応であったり、会議運営の最適化であったり、今後本校でも取り入れていきたい内容がありました。本校においては、不登校生徒や不登校傾向の生徒、特別な拜領や支援

が必要な生徒の割合が高いです。そのような生徒に対して、どのような手立てを施していけばよいのか再確認する場にもなりました。やるとよいことはいっぱいありますが、限られた時間の中でベストな方法で先生方と協力してやっていきたいと思えます。香田先生のお話やプレゼン資料等がわかりやすくまとめられていて、今後教頭としての任務に役立てていけると思えます。ありがとうございました。

- 毎日多忙感を感じながら過ごしていましたが、本講演を聴き、やりがいと生きがいをもって教頭業をすることで同じやる内容にしても全く残るものは違うんだと実感しました。今しかできない教頭業をやりがいをもって日々精進します。
- どの内容も「そのとおり！」とうなずきたくなるものでした。教育の質を担保しつつ職員の働き方改革を進めていくためには、「特別」な研修ではなく、日常のなかで組織的な動きをつくりだすことによって指導力の向上を図っていく必要があることを再確認しました。ありがとうございました。
- 今日からまた頑張ろうという気持ちになりました。香田先生のご講話では困り感を抱える子どものことや、若手教員の養成などにかかわる制度・取組を知ることができました。
- メリハリをつけて今後も働きたい。
- 大変だけど頑張ろうと思えました。
- 感想が遅くなり申し訳ありません。元気ができました。やる気が出ました。本当に矛盾していることが多いなと思っています。でもどちらも大事。だからこそ教頭としてどちらも対応できるように考え、校長と話し学校を動かしていなくてはと思います。「だれ一人取り残さない」これはもちろん児童の事ですが、職員も当てはまると思います。児童・職員みんなが居心地の良い学校にするために先生が話してくださったことを参考にしながら進めていきたいです。「一人ひとりを真に大切に教育」をこれからじっくり考えていきたいです。ありがとうございました。
- 子供の安全確保最優先を今後も継続していきたいと思えます。働き方改革については、工夫をして入るものの難しい面があります。仕事量が減ることが一番の策だと思っています。
- 日々の業務に追われ、自分が理想とする管理職にはまだまだ到底なれていませんが、自分がすべきことを改めて考えることができました。子ども一人一人を昨日より一歩でも成長させること、先生たちの笑顔を引き出すために教頭である私が元気に澆刺と仕事すること、頑張っていきたいです。
- 自分自身の業務の中で感じる問題についての講話の内容であった分、切実な思いで聴き勉強になりました。確かな方法が見えない中で、奮闘する日を送っていますが、幸田先生のお話から、優先することは何かや今までの形態に固執しない柔軟さ、そして、県が我々のために発信している様々なツールを効果的に使うことをもっと知ることが必要であることも気付かされました。「どうせ…」とあきらめるのではなく「必ず解決策はある」と信じ、今回の講話の資料を再度見直しながら、これからの業務における様々な課題に対して取り組んで参りたいと思えます。ありがとうございました。
- 毎日直面している問題や課題を解決するヒントをたくさんいただきました。勤務校に当てはめて、最適解や納得解につながる内容で、気持ちが軽くなりました。ありがとうございました。
- ポストコロナに向けての取組の方向をご示唆いただけました。また、昨今の教員のなり手不足への対応としての魅力ある学校づくりへの希望を持つことができるエールをいただいたように思います。様々な問題がありますが、学

校一丸、教育界一丸となって解決していきたいという希望を持ってました。

- 今の学校現場には様々なことが求められており、大変さも感じますが、香田先生からのメッセージである。「がんばった人には、必ずいいことがある。」や職員から「教頭先生のおかげです。教頭先生が居てくれるから学校が楽しくなりました。」と言ってもらえるように頑張りたいと思えます。
- 今、学校で課題となっていることに対する考え方や方向性を分かりやすく示していただけた。現任校の実情にあわせて捉え、対応したい。
- 働き方改革や危機管理、児童生徒対応、ICT等、管理職と先生方との受け止め方や考え方には一部ズレがある。そのズレを埋めるために先生方のニーズに応じることができるよう、今回のご講話内の工夫等を基に働きやすい職場づくりを心掛けていきたい。ありがとうございました。
- 学校矛盾を乗り越えるための工夫について、働き方改革の推進と教員の指導力向上について、本校でも、試行錯誤しながら取り組みを進めています。教頭として、今回の講話の内容を活かし、学校矛盾の解決を図っていく。
- 固定観念にとらわれず、工夫していきたいが実際にはなかなか難しい。できることを見極めていきたい。
- 「一人一人を大切に教育」の展開では、本校でも様々な困り感を抱えた児童が増加している。一人一人の児童や保護者の困り感に寄り添い、居場所づくりと学習の保障を遂行していくための方法を模索している。関係機関と連携をとることと共に、校内でも担任だけでなく、チームで対応する体制を整えたい。
- 様々な矛盾を抱えている現状を整理して下さって、また、解決策や解決の方向をお示しく下さって、頭も気持ちもすっきりした。自分の中でも日々矛盾を感じながら、同僚の先生方にいろいろなお願いをしています。それらがなくなる、または矛盾が小さいものとなるような教育界でありたいと思えました。
- 様々な矛盾した事案にどう立ち向かっていくのか、ヒントをもらえました。
- 現在の教育を取り巻く環境が分かりました。
- ありがとうございました。現場の「矛盾」と言われ自覚がなかったのですが、自覚がなかったのですが、ご指摘された、「確かに！」と思う事ばかりでした。確かに矛盾なのですが、ああだこうだと言ってられず、何が正解かわからない中でとにかくとにかく日々をこなすだけだったことを自覚しました。香田先生の資料を手元に聴きながら、とてもわかりやすく整理されていたので、これからの業務のヒントになるなあと思えました。ありがとうございました。
- 「本当に一人一人を大切にしてくださるだろうか？」という点については、どきっとしています。若手教員への指導がなかなか入らず、日々どう伝えようと子ども一人一人を大切にすることに繋がるのかと悩んでいるところです。子どもに力をつけるために、若手職員に力をつけることが急務です。今一度行内体制を整えていこうと思いを新たにすることができました。ありがとうございました。
- 学校現場が抱える課題について、困難ではあるが取り組んでいかなければならないと感じた。
- 学校の矛盾は挙げればきりが無いですが、まずは目の前にいる子ども達が安全安心に学校生活が送れるように、またそれを支えてくださる先生方が元気に勤務できるように、教頭として努めて参りたいと思えます。
- 「新たな教師の学びの姿」実現の為の新たな研修制度において、研修の充実について悩んでいたところでした。総括監のお話から、教員の指導力向上のために、効果的な支援・相談・研修体制に挑戦することで、働き方改革の推

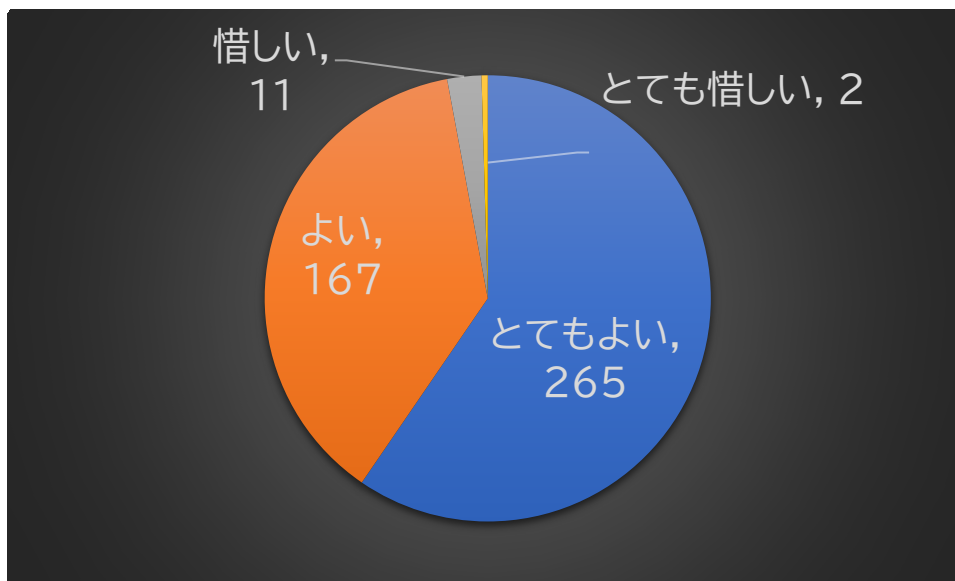
進を伴った研修を進めていきたいです。ありがとうございました。

- ・普段から感じていた学校の矛盾についてお話しただいで大変うれしかったです。すっきりと答えが出ることは少なく、常に迷いながらベストというよりはベターな判断をしていくことが大事だということがわかりました。様々なプレッシャーやストレスの中で働いている教頭職のことを大変理解していただいて、エールを送っていただいたことありがたかったです。ご講演ありがとうございました。
- ・今年度より教頭として本校に勤務しております。4月当初は、何をしたいのか分からず言われたことしかできませんでした。今までの仕事とは全く別物だったので、教えてもらいながらやっていた状態でした。何が、どこにあるのかも分からず皆さんに迷惑をかけているだけのようで申し訳ない日々でした。しかし、少しずつではありますが、自分なりにできることを見つけ職員のために仕事ができつつあります。それでも、学校現場では、多くの矛盾ばかりで講話を聞きながらうなづくことがたくさんありました。中でも、働き方改革(超過勤務)については、頭の痛い実態です。それでも、管理職である私たちが少しでも能率よく仕事ができる環境づくりにつづめることが重要だと再認識することができました。まだ、かけだしの私ですが、頑張れることがありそうだと勇気をいただきました。本当にありがとうございました。
- ・教育会の矛盾とジレンマを日々感じながら働いております。管理職としてまずは先生方に気持ちよく働いていただけるよう、心理的安全性を高めていきます。また、県としても大学との連携等、様々な取組をしていただいていることが分かり、励みとなりました。ありがとうございました。
- ・日常の課題に切り込む視点でのお話で、大変参考になった。
- ・本校には、発達特性があり、落ち着いて授業に取り組むことができない児童が多くいます。職員はそうした児童や保護者へのアプローチに日々奮闘しています。その中で教頭としてのやりがいを感じていることがあります。それは、職員が一致団結して前向きに取り組んでいることです。校長先生をはじめ職員に本当に感謝です。今回の研修を通して、学校の「形式的なあたり前」を見直し、今の学校や児童の実態、これからの学校教育を見据えた本校ならではの改革を校長先生とともに実施していきたいと改めて強く感じることができました。ありがとうございました。
- ・私たち教員は、常にさまざまな問題にさらされています。その中で、できることに、毎日、精いっぱいに取り組んでいる状況です。今の本校の様子を元に考えると、職員、先生方が元気に、明るく業務に向かってくださっていることが、管理職として本当にありがたく感じています。一緒にがんばろう。小さくても歩み続けよう、そういう気持ちを確かめることができました。
- ・現在、この瞬間に、教頭に求められる事を丁寧に分かりやすく示していただき、非常に有難かったです。ひごろ大切にしてきた事に大きな間違いは無かったと思うことができました。ありがとうございました。
- ・がんばればいいことがある・・・兼務教頭として今年度よりお世話になっています。日々勉強です。今のところ、自分の行ってきたことが本当に正しいのかこれでいいのかと自問することが多く、情けないと思う毎日です。ただ、動画を見て「がんばろう。」と純粋に思いました。何かを頑張るかはわかりません。毎日の日々の生活を大切にす

ること、これは教頭先生になったからでなく人としてを大切に過ごします。子どもたち、同僚の先生たち、地域のために地に足をつけて向かいます。香田先生の声が響きました。本当にありがとうございました。視聴が遅れて申し訳ございませんでした。

- ・大変参考になりました。これまであることを当たり前とせず、新しい考え方や見方をもって行動することの必要性や大切さを強く感じました。
- ・「学校の矛盾」という表現は、とてもしっくりきました。色々なことを抱えて困っていますが、今の状況の中で、できることを頑張っていくしかないと改めて認識しました。工夫を試みながら取り組んでいきたいです。また、一人一人を大切にするにはどうするとよいのか、見直してみたいと思います。
- ・県教委も学力向上やいじめ対策、働き方改革、人手不足等について、総合的に考え推進していただけていることがわかり、更に、香田せんせいには、3年間に渡って教頭先生方への熱いエールを送っていただき、どこの学校でもそれぞれ悩みや課題はある現状ですが、きっとどの教頭先生も頑張ろうと感じたと思いました。香田先生に今年もお話しただけでよかったなあと思いました。
- ・いじめや不登校などの問題についての対応はチームで対応することができています。勤務時間については、改善する努力はしていますが、難しい問題です。学校内の改善は図ってはいても教員不足により、学年またがったの指導があり、教材準備に時間がかかっています。教材のシェアなどは使いやすい、使いにくいということもあり、難しいようです。健康面、精神面に配慮しながら対応しているところです。どの学校も人が不足しているというのがすべてのことに関わってきているのが現状です。そういったことも言ってはられないので、教頭が特に補完していくことが重要だと改めて感じました。
- ・「働き方改革の推進と指導力の向上の両立」においては、特にメンター制度が確立しておらず、本校60名を越える教職員集団にとっては急務の内容であると痛感しました。その他、学校の矛盾についても同様で、様々な仕事がある中で、「なかなか本腰を入れて取り組むことができない」と自分で勝手に決めつけてあきらめてしまっていることを反省しました。「一人ひとりを大切にできる教育」では、本校でも校長が示したグランドデザインに「誰一人取り残さない」がある。どんな格好で学校に来て、受け入れるを大切に指導しているが、なかなか居場所をつくることできていない。今後も、一人一人に居場所をつくり、取り残さない学校づくりに取り組んでいきます。
- ・先生がおっしゃるとおり、日々様々な矛盾を感じながら勤務していますが、それらを乗り越えていくためのヒントをたくさんいただき大変参考になりました。特に小規模校であっても近隣の学校間でチームをつくって取り組むことやICTを活用した人的ネットワークの構築について取り組んでみたいと思いました。また、一人一人の子どもを真に大切にできる教育についても、子どもの心の不安に寄り添い、安心して学習に取り組めるような環境づくりが大切だと感じました。ありがとうございました。
- ・生徒や職員に還元していけるような学校環境を作っていきたいと思います
- ・日頃このような矛盾は何度も感じながら業務を行っていますが、今回ご指導いただいたように、それでも工夫しながら推進していかななくてはならないと改めて思いました。
- ・自分なりのよさを発揮しようと思いました

## 2. オンデマンド開催した研修総会は、如何でしたか。



### とてもよい理由

- ・ 通常の勤務を確保しつつ、できる時間帯に研修できるということは、最重要視すべきことと考える。
- ・ 時間の融通が利くから
- ・ 自分の勤務の都合で、時間のある時に視聴でき、とても良いです。
- ・ 参集会場までの移動時間と負担が軽減されるから
- ・ 時間を有効に使うことができます。
- ・ 忙しい中、時間を見つけて参加することができるからです。
- ・ 研修内容が今必要なこと、重要なことであった。わかりやすく教えていただけた。
- ・ 必要なことが短時間で解決できるから。
- ・ 自分の都合に合わせて視聴できる。
- ・ 自分で時間を決めて、研修をすることができた。また、あらためて見直したい箇所を繰り返し視聴して学ぶことができた。
- ・ 開催地区から離れている地区でも、業務への支障が少なく、参加できることがありがたいです。
- ・ 時間に制約がなく、ゆったりとした気持ちでしっかりと学ぶことができる。
- ・ 時を選んで視聴することができ、大切だと感じたところ、もう一度聞きたいところを聞き直すことができる所がよかったです。
- ・ 時間を選んで研修を進めることができるからです。」
- ・ 働き方改革の推進と教頭としての研修時間の確保の両立につながる。
- ・ 教頭同士の相互交流が無いのであれば、オンデマンドでも十分に実施可能であるため。ただし、教頭同士の交流があるのであれば、参集型がよい。
- ・ 校務のスケジュールと相談して受けられるから。
- ・ 移動時間がかからず、都合の良い時間に視聴できるから。総会の内容的にもオンデマンドで何ら問題を感じないから。ウェブ研修やリモートワークが充実してきた今、広い岐阜県ではこの方法が最適だと思います。
- ・ 業務上、人手が不足しているため。
- ・ 時間的に制約されずに済むから。
- ・ 遠方の学校は会場に向く時間や帰校の時間、それに係る労力が軽減されると思います。
- ・ 何回も確認(研修)できるのがいいと思います。
- ・ 教頭自身が働き方改革を示すことができると思います。
- ・ 時代に合っていると思います。
- ・ 日常の場所で落ち着いて研修することができます。また、校内の緊急時の場合、すぐに対応することができ、ありがたいです。
- ・ 時間が有効に使える。繰り返し視聴できたり、状況に応じて止めたりできることがよい。
- ・ 1日の業務を見て、研修総会を視聴する時間を決められるから。
- ・ 学校を空けることが難しい状況のため、勤務校で都合のよい時間に視聴することができ留ることがよいと思います。
- ・ 空いた時間を選んで視聴できる点
- ・ 時間に縛られず視聴できることで、勤務に影響が少ないから。
- ・ 対面参集型で行うことのよさは確かにあるものの、オンデマンドとすることで時間や労力、旅費を節約できることのメリットは大きいと感じたため。
- ・ 時間を有効に使うことができるため
- ・ 自分の空き時間など都合のつく時間を使って視聴することができ、効果的でした。
- ・ 移動時間が節約できるし、分からなかったところを見直せるから。
- ・ 移動時間が短縮される
- ・ 校務の合間に、自分で時間を設定して、時間にゆとり持って研修を受けることができるからです。
- ・ 都合に合わせて参加することができる。
- ・ やはり、この時期は宿泊研修や中間テスト、中体連の大会等、学校を抜けるには少々抵抗がある季節です。オンデマンドですと学校にいながら研修できますので、時と場所を選ぶことがなく効率的です。
- ・ 時間に縛られないため。
- ・ 移動時間がなく、効率的に学ぶことができる。時間も選べるので負担が少ない。
- ・ 交流や討議を前提とした会合ではないため。
- ・ 状況に合わせて視聴するタイミングを考えることができるのでよい。視聴期間を設けていただけたこともよかったです。
- ・ 時間や場所を問わず視聴できることで、学校業務に差支えがないところ。また、1時間以内で研修ができたこと。

- ・体調不良や忌引、出張等で補充に入らなければいけないことが多く、なるべく、学校での勤務時間を増やしたいため。
- ・参集型の良さはもちろんありますが、時間の有効活用や繰り返し視聴できる講話が有効だと感じました。
- ・様々な対応に迫られる中で、時間的な自由度のある研修受講が可能であるため。
- ・時間の融通がきくため、会場への移動がないため
- ・校務等の関係で、なかなか決められた時間に研修に参加することが難しい中、研修時間の幅をもたせていただいたことで、とてもスムーズに受講することができました。
- ・校務のスケジュール内で、調整をしながら時間を確保することができたため。
- ・空いた時間に、落ち着いて視聴できるから。
- ・移動や業務の負担感なく、効果的な研修が行える。今回も学校の行事と重なっていたが、教頭としての業務を行ってから、研修を行うことができ助かりました。
- ・小規模校の本校では、なかなか教頭の私が学校を空けることが難しいため、大変、ありがたかったです。
- ・時間と場所を自分で決定できる。移動時間が不要。
- ・どうしてもこのような講話になると聞き逃しをしてしまうことがあるが、聞きたいところに戻って確認することができる。時間も自分で調整できるので、他の業務に支障がない。
- ・「授業のない午後に参加する」と決めていたので、授業を自習にする必要がなかった。また、詳しく聞き直したい箇所を戻して聞き直すことができ、理解が深まった。
- ・自分の時間のタイミングで研修することができ、助かりました。
- ・自分のペースで研修ができるから
- ・移動時間の必要がなく、時間の余裕がもてた。自己の業務の合間に参加できた。特に、オンデマンドしかダメだとの強いものではありません。会場準備等を考えると、どの方法が運営側の先生方の負担が少ないのか、そこが一番に考えていただいよと思います。講演の内容からも、教頭として頑張ろうと前向きな気持ちになることができ、心強く感じました。よい時間をご準備くださり、ありがとうございました。
- ・学校現場の状況にあわせて、時間を調整しながら研修を行うことができ大変助かった。
- ・移動する必要がない
- ・学校の状況により変更できるので、自分で、時間を設定して視聴することができるのはありがたいです。
- ・オンデマンドの御準備をいただく大変さがあるかとは思いますが、移動する時間をかけず、研修を受けることができました。
- ・職員の少ない学校なので、日中は補充や授業に当たることが多い。そのため、時間を気にすることなく視聴できるところがよい。
- ・都合のよい時に、研修できるため。
- ・講話を何度も拝聴できる点、勤務の状況に合わせて研修ができる点など、ありがたいと感じています。
- ・勤務校にて、勤務の状況に合わせて視聴できたので。
- ・これまで日々の雑多な業務に追われてばかりいたが、我々の視点を変える(工夫)ことで課題解決を図ることができ分かった。また、研修総会で学んだ内容をもとに、生徒や教職員ののためにまずはできることからやっていこうという気持ちをもつことができたから。
- ・勤務に差し支えなく、学校を空けなくても良いから。
- ・YouTube だったので、音声、画像等とても分かりやすかったからです。
- ・今年度は、現在週23コマの授業を持っています。本日6/16(金)は、6時間すべて授業でした。オンデマンドではなく、参集型やリアルタイム WEB 研修だと、自習の準備

や自習の処理等がとても負担になるし、児童にとってもよくないからです。

- ・校内事情により、タイムリーに参加することが難しい時があります。実際に今回がそうでした。オンデマンドにしていただけのおかげで、自分の都合に合わせて参加でき、とても助かったからです。
- ・行事や、突発的な事案にも対応でき、ゆっくり見られる。ゆっくり見たいところは、とめることができる。資料も用意してくださっているので、読み取りたいところをじっくり読み込める。
- ・時間の有効活用になるから。
- ・限られて時間の視聴ではないから。
- ・移動時間の短縮、もう一度聞きたい部分の繰り返しが可能になるからです。
- ・自分で時間を作って参加することができるからです。
- ・移動時間がない。自分で時間の都合をつけてできる。
- ・自分の都合のよい時間に学ぶことができるから。
- ・学校にいる間は、研修を受ける時間がない。その分、授業を代わってもらったり、周りの先生に迷惑をかけたりしてしまう。オンデマンドならば、自宅に帰ってから、夜中に研修ができる。来年度も是非オンデマンドにして欲しい。
- ・休日に自宅で視聴できました。心にゆとりがありました。
- ・当日は生徒指導で動けなく視聴ができなかった。休日にじっくりと視聴ができ学びやすかった。
- ・平日はどうしても時間がなく、動画も見ることができませんでした。休日に見ることは本当は避けたいのですが、それが可能だという理由でオンデマンドがよいと思いました。
- ・移動の時間が不要である。自分自身で時間のコントロールができる。旅費を支払わないので事務官もやさしくなる。
- ・講師の方の表情やお話もよくわかりました。
- ・教頭の複数配置校ですが、学校から出ることは難しい状況にあります。学校に残らねばならなくても研修が可能なオンデマンドは、大変ありがたいです。さらに、実際に参加した場合は、1つのテーマにしか参加できませんが、オンデマンドでは複数の研修参加が可能となります。
- ・勤務校の状況で、視聴できる日時を自由に選択できるため。
- ・いつでも自分の都合がつくときに視聴でき、聞き直すことも可能だから。
- ・業務に支障なく実施できる
- ・休日に自分のペースで学べる。
- ・何度も見直しができ、自分の時間で研修を受けることができるため。
- ・落ち着いて研修を受けることができ、出張のための時間もかからないから。
- ・動画と資料の両方で確認しながら視聴することができ、内容をよく理解することができた。また、録画動画であったため、校務に支障なく、じっくりと視聴することができ、ありがたかった。
- ・なかなか長時間学校を離れにくい。
- ・自分の対応可能な時間、タイミングで対応でき、通常業務とのバランスをとりながら研修ができるため。
- ・一定期間の中で、各自の都合のよい時間に自分のペースで聞くことができるから。また、聞き逃したときに戻ることができたり、じっくり理解しながら聞いたりすることができるから。
- ・都合の良い時間に視聴ができ、ゆっくり落ち着いて研修を受講できたから
- ・自分の都合の良い時に見ることができたからです。
- ・自校の予定に合わせて研修を受けることができるため。会場までの移動時間が必要なく、時間にゆとりができるため。



- ・自分の都合のよい時間に落ち着いて研修を受けることができるため。
- ・参集して教頭先生方と交流をしたいのが本当ですが、オンデマンドでも十分勉強になります。
- ・当日都合が悪い場合でも、さんかできる。
- ・参集型ではないため、学校での勤務に余裕がある時間に研修ができるため。
- ・どの時間・どの場でも研修を受けることができるため。また、気になるところを再生して見るができる。
- ・16日当日は、学校内の人手不足のため補欠授業や来客対応で追われておりました。オンデマンド研修により、落ち着いた環境でじっくり講話を視聴することができました。
- ・都合のつく時間に視聴することができるから
- ・学校にいて、時間を選んで視聴できるから。
- ・時間に縛られることなく、視聴することができます。
- ・各校で抱える問題は様々であり、時間の都合をつけて観られること、何度も観ることができることがよいと判断しました。
- ・日々の業務をしながら隙間の時間を使って視聴できる。学校現場で突然起こる問題をはじめ、教職員からの問い合わせに対応することができる。
- ・研修時間を自分で設定できる
- ・視聴できる時間を見つけて、研修ができる。
- ・授業や会議と重なることなく、無理のない時間で視聴することができた。
- ・時間があるときに視聴できるため。
- ・ゆっくりと余裕をもって学べる放課後の時間に視聴することができたので、集中してお話を聞くことができました。
- ・移動時間が必要ないので。
- ・①映像を見直すことができる。②時間を有効活用できる。
- ・自分の時間にあわせて適宜参加できる。
- ・学校に不在で迷惑が掛からない。
- ・学校の対応を優先し、時間がある時に研修することができたため。
- ・集まる時間、待つ時間等を省くことができることや、自分で時間の時間のやりくりの中で隙間時間を有効に活用できることなど、時間的なメリットが非常に高いため。特に協議する必要のないものは、WEBやオンデマンドにするべきだと思った。「コロナ前に戻すのではなく」の最たるものだと思う。
- ・ビデオであるため、一時停止したり、少し戻して繰り返し視聴することができるので、メモが取り切れないということがないから。
- ・参加時間を自分の都合で選択できるから。
- ・視聴時間を選んで効率よく仕事ができること、また、確認したい内容に関してはもう一度観返したり読み返したりできることが理由です。
- ・当日用事で見ることができませんでしたが、自分の都合のよい時間に研修ができる。
- ・行き帰りに時間がかからない
- ・何度も聞き直すことができること。
- ・一定期間に視聴できるため、他の業務と調整をつけることができる。
- ・自分のペースで研修をすすめることができたから。
- ・開催日は学校行事が入っており、もし参集型だったら参加できなかったから。
- ・教頭として大切な視点や考え方、心構えについて、自分の時間を使い、じっくりと見つめなおすことができたからです。また、聞き逃したこと、もう一度聞きたいと思ったことを、繰り返し聞き、確認することができました。とてもありがたかったです。
- ・自分で研修に参加する時間を自由に選択することができるから。
- ・学校を離れることで、職員に負担をかけてしまう心配がある現状の中、都合のよい時間帯に視聴できることは、大変ありがたいから。
- ・自分の業務時間に合わせて見ることができてゆとりをもって向かえるため。
- ・自分のタイミングで視聴し、学ぶことができるため。
- ・期間内でいつでも研修できるのがよい。
- ・時間を見つけて研修を行うことができるため
- ・自分のゆとりのある時間に研修することができるから。
- ・学校を空けることがない。自分の都合のよい時間に研修できる
- ・自分の時間で参加できたから。
- ・時間が有効に使える。もう一度聞きたいところが聞ける。
- ・
- ・自らの時間を有効に活用できるため
- ・学校から離れることが難しいため
- ・今後の教頭業務改善に活かせるヒントを多く教えていただけたから
- ・勤務場所を離れなくてよいから。
- ・移動時間がかからないことは、大変ありがたいです。
- ・時間にゆとりがある。
- ・自分の仕事のペースの中で、学ぶことができるため
- ・都合のよい時間に参加できるから。
- ・研修内容もとても分かりやすく、今後に生かすことができる内容でした。また、研修時間も、現場の多忙さをご理解いただき、大変、ありがたく感じました。
- ・限られた時間の中で研修ができ、時代や現場の実情に合っている。
- ・各校において、自分の都合がつく時間で参加することができるため。
- ・時間にゆとりのある時に、じっくり視聴(研修)を行うことができるため。
- ・いつでもどこでも研修ができるから。
- ・様々な業務に追われる中、移動時間などを使わずに融通をつけられる点が大変よかったです。
- ・当日都合がつかない場合でも別日に研修したり、繰り返し視聴したりできるから。
- ・多忙な毎日を送っており、時間を選んで研究総会に参加できるため。
- ・職員の出張や年休と重なるなど、時間に余裕がない日に対応ができることが、ありがたいです。
- ・出張で学校を空けることなく実施でき、確認したいところは繰り返し見られる。
- ・都合のよい時間帯で落ち着いて視聴することができるからです。
- ・学校を不在にすることなく、視聴できる時間を調整することができるため。
- ・自分の時間で視聴できるから
- ・香田先生の講話を戻して聞き直すことができたから。
- ・学校を離れることは大変難しいです。こちらの時間や都合に合わせて研修を受けられるので、今後もこの形の研修がよいです。
- ・突然のトラブル対応など、参加できないことがありえるが、今の形であれば、必ず学ぶことができるから。
- ・都合の良い時間に受けられるから。
- ・勤務の状況に合わせて講話を視聴できるからです
- ・自分の都合のよい時間に実施できるので、余裕をもって視聴したり、資料を読んだりできる。
- ・県の北端にある本校は、この会のもち方だと、終了後すぐに児童や職員に関われるので、ありがたいです。
- ・日時(移動時間含む)を拘束されずに、都合のつくところで研修を行うことができるから。

- ・必ずしも、学校や使用で、研修を実施できないことがあるため。オンデマンドだと大変助かります。
- ・自分の時間で参加できるから。
- ・様々な仕事がある中、時間と場所にとらわれない会の進め方はありがたいです。
- ・本当に毎日が忙しく、自分の都合で研修することができるため。学校を離れて出かける必要がないこともありがたい。
- ・働き方改革の一環で、移動の時間が省けたり、開催してくださる方々の準備(会場の確保や駐車場整理など)も省けたりするのではと思います、とてもよいと思うからです。その時間を子どもたちの対応や校務にあてることができ、還元できるとも思うからです。
- ・学校の実情に合わせた時間帯で参加することができるから
- ・忙しい中でも研修できるから
- ・参加者(聞き手)にとってタイミングのよい時に視聴できるから。
- ・各学校、各自の状況に応じて、弾力的に研修を行うことができる。
- ・自分の時間が取れるときにじっくりと研修することができるからです。
- ・学校を離れなくても参加できることがありがたいです。
- ・学校を離れないで済む。また、旅費についても支給の必要がなく、財政への圧迫も減る分、他へ予算を回せるのではないかと考える。
- ・参集型だと移動時間をもったいない。オンデマンド型は、自分の仕事の状況に合わせてできるため、自分で調整ができる。
- ・じっくりと自分のペースで視聴でき、出張での移動もなく、働き方改革にも合っている。
- ・集合はむずかしい。
- ・参集型と比べ移動時間を省くことができる。講話等繰り返し視聴できる。
- ・いつでも好きな時間に研修を受けられるから
- ・現在抱えている悩みを解消する手がかりになる話が聞けたから。
- ・今日的な課題であると思うから。
- ・出張のための移動時間が省ける。
- ・大変具体的な内容で、今の自分自身にとって大変勉強になったから。また、自分の都合に応じて視聴できたことは大変ありがたかったから。
- ・時間に縛られないため
- ・少人数の学校であるため、研修等で職員が一人でも欠けると支障が出るため。
- ・学校を離れず、空いた時間を活用して参加できることはありがたいです。
- ・初任教頭として、1学期は本当に時間がなく大変でした。時間の制約がなくありがたいです。
- ・好きな時間に参加できる
- ・可能な時間にゆっくりみることができると。
- ・日常は学校の子どもたちや先生方に接する時間に十分な時間をとり、比較的時間が自由になる家で研修ができてよいと感じました。
- ・今日的な課題を踏まえ、具体的な指標があったから。また持続可能な社会における新たな教育について考える機会を得られたから。
- ・オンデマンドにしていただけると自分の時間に合わせて研修することが可能であるため。
- ・参集型よりも効率的であると感じたからです。
- ・出張に出かける移動の時間を削減できるから。
- ・じっくりと視聴することができた。
- ・好きな時間、好きな場所で研修できるから。
- ・現状や取組に共感できる内容が多かったから。
- ・十分べんきょうさせていただくことができます。学校を長時間あけることなく、子どもや職員についていられるからです。
- ・移動時間の削減、都合の良い時間に視聴ができる、繰り返し視聴できる。
- ・時間を見つけて視聴ができた。
- ・在勤校での参加が可能なおうえ、時間を選ばない。
- ・多忙な毎日ではありますが、自分に合った時間に研修が受けられるところがよかったです。
- ・時間に余裕があり、資料と照らし合わせて視聴できた。
- ・時間の都合がつくときに研修に参加できるため。
- ・自分の予定に合わせ、研修を受けることができるため。
- ・職員の出張や授業の補充、児童や保護者の対応など、なかなか自分自身が出張に出ることが難しいため、このようにオンデマンドで研修が受けられることは有り難いです。
- ・適切な時間に視聴できる
- ・閲覧時間を選択できる
- ・参集型だと、突発的な対応のため行くことができないことがあるため。
- ・自分のタイミングで研修することができる。
- ・自分のスケジュールに合わせて、視聴することができたから
- ・忙しい時間を避けて研修総会に臨める。職員が少なく、一人抜けるだけで学校にとっては大変な打撃であるため。
- ・参集型でなくても十分に学べるから。
- ・今もそうですが、学校の業務、そのときの校内の優先順位を考えて、研修に参加できる時間を調整できたので、ありがたかったです。
- ・移動に要する時間についてスリム化されたこと。その分、学校で他の教員にかける負担を軽減することができたこと。講和の内容を繰り返し見て、理解を深めることができたこと。
- ・対面で実施することの意義や意味は理解しておりますが、そうすると、遠方からの長距離移動となります。負担軽減となるこの方法は、働き方改革にもなっており、教頭が率先していることに価値があると思います。
- ・都合のよいときに視聴できる
- ・生徒指導上の問題等で出張することにためらうことも多いので、今年のように期間も延長していただけるととてもありがたいです。
- ・この時期、宿泊研修等で学校長不在の日があるため、教頭が自校で研修を受けられる事は有難いです。
- ・学校の勤務時間内に、視聴する事は難しい。帰宅後、好きな時間に研修できるので大変ありがたい。
- ・やるべきことが山積みのため、空いている時間に研修を受けられることは大変有難いからです。
- ・職場で何度も確認して視聴できる
- ・校内事情も含めて、都合のいいタイミングで受講できたから。
- ・短時間で自分の思うように時間が活用できるため
- ・画面越しではあるが、集中して話の聞ける環境で、参加することができたため。
- ・毎日、突発的に何かが起こる現場において、職場を離れることなく、しかも自分の都合の良い時間に視聴できたり、途中で止めて、続きから視聴することもできるのは、本当にありがたいです。
- ・時間を見つけて取り組めることがとてもよかったです。
- ・オンデマンドなので繰り返し大切にしたい部分を落ち着いて見ることができると。自分のスケジュール調整をし学ぶことができるため
- ・時間を見つけて講話を拝聴することができた。
- ・学校の行事や緊急対応に左右されず、研究総会の内容を把握したり、講話を試聴できたりするため。

- ・自分で都合の良い時間に視聴し、大切な部分は繰り返し聞き返すことができたから。
- ・他の教頭先生と顔を合わせることができる機会もあるとよいと思いました。
- ・自分の都合の良い時間を使って研修を受けることができるため
- ・時間を選んで研修ができるため
- ・いつでもどこでも参加できるから。
- ・校内の事情で当日研修することができませんでしたが、都合の良い時間にきちんと研修できてよかったからです。
- ・移動時間、研修時間といった時間を有効に使うことができるから。
- ・研修として問題ない。移動時間が必要ないため、勤務のスリム化につながる。
- ・参集型でなくても、十分、必要な情報が得られる。
- ・会場への往復にかかる時間や労力の削減につながるため、
- ・日時の制約がないから
- ・コロナ禍の良い部分が大切にされていると考える。
- ・自分自身、新任教頭として悩んでいるところなので、激励された気持ちになりました。
- ・自分の状況にあわせて学ぶことができる。
- ・会場より遠方にて勤務しており、職場にて、簡単に参加できるから。

## よい理由

- ・自分のペースで進められること、自分の行いたい時間に始められること
- ・新たなことを学ぶ機会、全員参加の総会、ということを見ると、話し合うことより講義を聞くことが中心となるので、わざわざ集まるよりも時間を選べるオンデマンドの方がよい。
- ・時間を効率的に使うことができるから。
- ・時間に縛られず取り組めるため、タイムマネジメントがしやすいし、聞き逃した部分についても聞き直すことができるため
- ・短い時間で終わることができ、学校を離れることもないので効率がよい。
- ・参集する魅力もありますが、じっくり話を聞くことができる。何回も見直せる点からはオンデマンドがよいかと感じます。
- ・自分の時間でじっくりと視聴できるから。
- ・移動も含めると、学校業務の負担が他の先生にも影響をしてしまうことがあるため。
- ・空き時間に対応できる。
- ・学校業務に支障をきたすことなく、落ち着いて研修を受けることができます。
- ・自分の空いている時間に聞くことができるから。
- ・とても中身の濃い内容でした。ただ、それぞれの話題に対してもう少し詳しく聞くことができれば、さらによいと感じました。
- ・校外に出た場合の往復の時間を効率的に使える。また、よく理解出来なかったところは繰り返し視聴できる。
- ・いつでも気軽に視聴ができる。
- ・場所、時間を問わず、自分のタイミングで研修できることが良い。
- ・研修会場まで出かける時間の短縮、校内行事等を配慮し都合の良い時間に研修できる。
- ・各学校で視聴できるため、移動時間などなく、ゆとりができた時間を校務に活用できる。
- ・研修を受ける時間を自分で調整できるから
- ・職員が少なく、学校の外に出かけることが厳しいから。
- ・自分の時間で研修できるのがよい。

- ・時間管理を行いながら適切なタイミングで臨むことができた。ありがとうございます。
- ・個々の状況に応じて視聴できる。学校にいながら参加できる。
- ・会場への移動時間を省略することができ、自分のペースで研修総会に参加できたから。
- ・参集型もとてもよいですが、オンデマンド開催となったことで、学校を離れる時間が減り、働き方改革となったと感じたからです。
- ・都合の良い時に参加できるから。
- ・移動時間がなく、また、学校を空ける必要がなくなる。そして、時間ができた時に落ち着いて視聴できるため。
- ・飛騨は移動が負担なので助かります。
- ・自分の課題だと思っていた内容であったため、考えさせられました。
- ・感想に書いたように、いろいろなことの整理ができたから。
- ・本当は目の前でお話を伺えるとさらに良かったです。
- ・学校から離れなくても済むし、休日に見ることができ、他の業務を阻害しないため。
- ・改めて、目標を明確に持つことができた。
- ・自分の仕事の合間を活用して研修できるから。

- ・日々の業務や出張が多く、自分の空いた時間に見られることと、資料や動画でも十分よくわかったことから、オンデマンド開催でよいと思いました。
- ・時間の融通がきく
- ・いつでも見られるから。人手が足りない中で学校を離れづらいから。
- ・移動時間がない分、仕事をすすめることができました。内容も、参考になることが多かったです。
- ・勤務時間ない内だけでなく対応ができたり、期間中何度も視聴できることは大変ありがたいと感じるから。
- ・移動時間の短縮になる
- ・業務の合間に視聴できるので、忙しい中では大変助かります。
- ・日常の校務と自分の研修の時間が、全て円滑に進められたから。
- ・校内にいながら研修できる、校内事情に応じて時間を自由に設定できることで、校内での様々な事象に即座に対応することが可能なためです。
- ・なかなか自由にならない中、時間を見つけて視聴できるのありがたいです。
- ・落ち着いて学ぶことができるからです。
- ・いつでもどこでも参加できるから。ただ、その時間は自ら生み出さねばならないが。
- ・余裕のある時間に研修を行うことができる。
- ・働き方改革 オンライン体制が整備された現在、これを利用しないことは時代にそぐなわい。
- ・空いている時間で視聴することができ、業務に対する見通しがもちやすいため。
- ・都合の良い時間を選択して視聴できるから
- ・時間の融通が利く。そのため集中して参加でき、かつ他の仕事の支障にならない。
- ・
- ・校務の隙間など自分で時間を見つけて視聴することができるから。
- ・オンデマンドは、時間を見つけて参加できる。
- ・時間の調整がしやすいから。

- ・オンデマンドでも、研修が成立しているため(話の内容など)
- ・自分の時間で参加することができる。
- ・参集型でもよかったが、オンデマンドでも遜色なくできたから。
- ・自分の都合のよい時間に研修を受けることができるから
- ・現場を離れるには不安が多い。
- ・今回も土曜日に拝聴させていただきましたが、平日はなかなか時間が取れないので、こうした形式だとありがたいです。
- ・自由な時間に視聴できること、繰り返し視聴できること。
- ・時間がある時に落ち着いて研修に参加できるため。
- ・業務多忙で、学校を抜けにくい。
- ・都合が合わず、やむを得ず後日に視聴させています。この形式でないと参加できませんでした。
- ・データに基づいて説明があり、わかりやすかった。
- ・何度でも聞くことができる。
- ・自分の視聴できる時間に合わせてできました。
- ・自分の時間を見付けて、無理なく参加することができた。
- ・移動時間が省けますが、他校の教頭先生方との交流が持てないことが残念に思います。
- ・自分の空き時間で研修可能だと思っていた。が、結局、時間外での視聴となった。でも校内の職員には迷惑をかけずに受けられた。
- ・学校行事で今回当日視聴ができませんでしたが、自分自身の業務改善として、計画的に視聴することができました。
- ・わかりにくかったところを、もう一度視聴し、確認することができたから。
- ・忙しい時期なのでそれぞれの勤務先で行うことができるから
- ・オンデマンド研修でも、その意図は十分伝わるから。
- ・自分の都合の良い時間に参加できることです。
- ・研修時間を自己選択することができる。
- ・時間的な理由
- ・多忙な中、自分で時間を見つけて研修できる点がよかったです。しかし、実際に他校の教頭先生方とお会いして共有するなど、横のつながりも大切にしたいと思いました。
- ・時間に限られることなく、受講できるため
- ・終日学校を空けなくて済む。時間のある時に講話を拝聴できる。会場に行くまでの時間がかからない。
- ・学校の状況に合わせて、時間を決め研修することができる。
- ・学校を空けずに研修をすることができるため。
- ・時間を有効に活用できるため
- ・自分の都合のよい時間に視聴でき、何度も視聴することができるため。
- ・自分で時間を選べるのがありがたかったから
- ・参集型ではないことはありがたかった
- ・何度で聞くことができるから
- ・日常の業務が滞る。
- ・時間的に制約をされない。
- ・学校でフリーが少ないので、現場を離れなくて済む。
- ・「聞く」ことが中心なら、集合することに関わる時間、旅費、担当される方の準備の負担が軽減される。
- ・配信の大きさにも関わるので難しいと思いますが、できればオンデマンドよりライブ配信として、時間をある程度限定されると、こちらも心構えができてよい。
- ・時間や労力の削減になるから。
- ・自分ができる時間に参加できるため。
- ・研修会場への移動時間がかからない。都合のつく時間に研修できる。
- ・学校をあけることなく、研修ができる。時間を有効に使える。
- ・時間の融通がきくから。
- ・臨場感には欠けるが、時間と場所を選ばない点が良い。
- ・現場を離れなくて済むこと。半面、教頭と顔を合わせて苦楽を交流したい気もする。
- ・自分の都合の良い時間にできるから。
- ・現場を離れられないこともあり、自分のタイミングで研修できる。
- ・参集型、オンデマンド型のそれぞれに良さがありますが、現在の学校の状況では、この形がとてもありがたかったです。
- ・いつでも参加できる
- ・自分の隙間時間に合わせた研修が可能であるため大変助かります。
- ・自分の空いている時間に研修できるから
- ・自校で勤務しながら、研修ができる点から。
- ・現実的には、職務上オンデマンドがありがたいが、参集型で横の繋がりをつくる機会となることの魅力も感じるから。
- ・効率的にできるという点ではよい。繋がりが作れないという点が弱点である
- ・自分の時間で研修を受けることができよ。ただ、他の学校の教頭先生型と直接お会いして話ができる機会もあるとよいと感じました。
- ・やはり、学校を離れることができないので、自由に視聴できる形でよかったです。また、何回も聞けるのがいいです。(しかし、本当は参集型がいいですが)
- ・自分のペースで研修が受けられるから。
- ・多忙で校内の人手が足りない中、自分の空いた時間に研修することができる。また、移動時間がないため、効率がよい。
- ・時間を選ばずに参加することができる。
- ・今日のお話にもありましたが、時間がある時に自分で研修を進めることができるから。
- ・当日別業務で参加することが不可能でした。しかし、オンデマンドで行っていただけたことで後から時間差で参加できたので、ありがたかったです。
- ・視聴時間の融通が利くため
- ・自分の空いている時間で研修に臨むことができたため。
- ・参集よりも、時間の融通が利くため。
- ・時間に少しだがゆとりのある時間に視聴し、メモもきちんととり、考えながらお話を聞くことができたことです。
- ・自分の時間で視聴でき、また繰り返し視聴することもできました。さらに、パワーポイントについても、見直したり、細かな部分まで読み込むことができ、勉強になりました。
- ・自分の都合がつくときに視聴することができるから。
- ・自分の見たいタイミングで視聴でき、繰り返し見て確認する事ができる。
- ・移動の時間は削除されるが、実際に視聴しようと思うと学校では時間の確保が難しい。
- ・時間にしばられずに、遠方まで行くことなく研修できることはありがたい。一方、県内の教頭が一堂に会し、顔を突き合わせることも意味があると思います。
- ・参集しなくても開催できる方法があるなら、その方が、時間と費用の節約になるから。
- ・時間に合わせて参加をさせていただくことができました。
- ・自分の時間で研修に参加できること。
- ・〇講話を吟味しながら拝聴することができる。時間的な制約がないので負担感も少ない。△他の先生とのリアルタイムでの意見交換ができると、捉え方考え方を広げたり共感しあったりできる。
- ・遠隔力は移動のための負担があるので、その時間を考えると大変ありがたいと思います。ただ、お話しくださる方

の生の迫力や熱量を直に味わうことができないことは残念です。

- ・ 講話を聞き直したり、見直したりできるので、理解しやすいです。しかし、香田先生の講話は参加型で拝聴したいとは思っています。
- ・ 日々の業務が大変で、学校を離れることが不安だから。
- ・ 空いている時間を活用できるのはよいが、他の学校の教頭先生と交流がしたい。
- ・ オンデマンドでもしっかり話が聞くことができたから。
- ・ 時間的な制約なく、周囲に気兼ねなく参加できるから。
- ・ いつでも動画で研修できること。ただ、他校の教頭先生方との交流があるとよいと思う。
- ・ 時間の制限を受けず研修を受けられるという点では、ありがたかったが、やはり集まって意見を交流したり話を聞くことも大切だと考えています。オンデマンドでは、掴みきれないものがあると思います。
- ・ 学校の業務もあり、なかなか外へ行くことが難しいところがあります。しかし、外に出ることも必要だとも考えます。
- ・ 自分自身が気になった場面や資料の部分を何度も見返すことで、受け身にならずに学ぶことができました。
- ・ 自分の時間で参加することができるから。
- ・ 落ち着いた時間や落ち着いた場所で学べるため、内容もより身に付くと感じる。
- ・ 時間の自由度がある点はありがたい。ただ、参集して様々な方と情報交換することもメリットだと思います。
- ・ 多忙中、都合のよい時間に参加できることは、ありがたいです。
- ・ 業務の隙間を縫って自分のペースで視聴・研修をすることができるからです。
- ・ 会場が遠い場合、その移動に時間がかかるので、オンデマンド研修は自分のペースでできるのでありがたいです。ただ、参集だと交流ができるので、両方あるといいと思います。
- ・ 移動による時間のロスを防ぐことができるから。
- ・ 本校の場合、午後から職員が足りない状況となるため、学校現場を離れず、自分で研修時間を選択して実施できるのは、自己の労務管理にもつながりありがたいと思います。ゆとりをもって研修に取り組めます。
- ・ 行事や補充授業など、なかなか学校をあげられない事情があるため。
- ・ いつでも好きな時間に研修ができ、何回も振り返ることができたから。
- ・ 自分の時間で参加できるから。同じ立場で同じ困り感のある方との交流ができないけれども。
- ・ 集い、顔を合わせて行う良さもありますが、どの教室にも教員がいる状況をつくるためには、学校をあげることはできそうにありませんでした。実際的な開催方法だと思います。
- ・ 移動にかかる時間を節約できる

- ・ 会場への行き帰りの時間が省けるため、時間が有効に使える。自分の都合に合わせて参加できる。
- ・ 聞きやすく、わかりやすい講演でした。
- ・ 会場までの移動時間をなくすることができるから。
- ・ 充実した研修内容でありました。
- ・ 移動時間がかからない。
- ・ 集まる時間が節約できるので。
- ・ 見たいときにじっくり見ることができる
- ・ 学校や自分の業務の波(忙しさ)に関わらず、参加できる。
- ・ 学校の業務の支障を最小限に抑えられる。講話をじっくり聞くことができる。
- ・ 時間を見つけて、効率よく受講できるため。ただ一方で、直接お会いして、その場で話ができるメリットも大きいです。その魅力を知っている分、残念に思う気持ちも大きいです。
- ・ やはり、参集の上で、仲間との意見交換の場もほしいと思いました。
- ・ 勤務校を離れないで実施できたことは、時間や移動などの面から良いと感じた。反面、講演者や聴衆者の熱量や気持ちなどが、実際に顔を合わせたばあいと比べると弱いと感じる。年に1度の大切な会だからこそ時間や場所、実施方法を大切にしたい。
- ・ 移動時間が無いことや各自の時間帯で参加できることは効率的であるが、主催者側の準備や編集等を考えると、とてもよいとは言い難いため。
- ・ 日常的に感じていることや悩んでいることについての内容だったから。
- ・ どの時間でも研修に参加できることはよい。
- ・ 内容は良いが、対面の方がよく伝わるから。
- ・ 土曜日などの落ち着いた自分だけの時間で視聴することができるため。ただ、参集型で他校の方と直接お話しする機会があるのも研究大会のよさだと思っているので、次年度からはその方向でできるとよいと思います。
- ・ 当日は別の出張で参加できず、別日も校内が慌ただしく、結局は土日に家で視聴する事になったから。
- ・ 自分は参集型がよいと思っていますが、オンデマンドも時間を気にしないで視聴できるのでよいと感じました。
- ・ 学校を空けることがなく研修できるからです。でも、直接聞かないと伝わりにくいこともありとても複雑です。
- ・ 内容はとても良かったと思います。でも参集型で、他の教頭先生たちと会って話ができることも魅力的だと思うからです。
- ・ オンデマンドは、会場にいく時間がかからない等の良さがあるが、実際に会場に行き交流できると、さらに得られる情報が増えるのではないかと思うから。
- ・ 参加しやすい
- ・ 行事や研修などが重なる時期のためオンデマンド開催はありがたいです
- ・ いつでもどこでもできるから

## 惜しい理由

- ・ オンデマンドの内容は良かったが、結局プライベートの時間を使わないと視聴ができない。出張は時間の保証がある。
- ・ 参集型の負担もあると思うが、一人職の場合、交流といかなくても会話の機会があるだけでも悩みやストレスの解消につながるのではないかと考えているから。
- ・ タブレット端末で動画視聴ができなかった。
- ・ 実際にお話を聞いた方がより、分かりやすいと思います。
- ・ 参集し、外の空気を吸いながら、人の感触を感じながら聞くことが大切だから
- ・ 総括監の話は直接会場で聞くのが楽しみであったから。

- ・ なかなか学校を出て参加することは難しいことかもしれませんが、新任の立場ではぜひ同じ境遇の諸先輩方に直に会って、いろいろと具体的なアドバイスを聞きたかったと考えるからです。
- ・ 対面でしか伝わらない講話の本質があると思う。
- ・ 参集型で、様々な方と直接お会いして、刺激を受けたいという思いもあるからです。
- ・ 直に顔を拝見させていただきながらお話を聞かせていただきたという強い願いをもっておりました。
- ・ 実際に顔を合わせて、質疑応答や交流等の時間があるとよい。

## とても惜しい理由

- ・私は、参集型を経験したことがないので、オンデマンドが良いのかわからないからです。参集型であれば、オンデマンドと何が違うのでしょうか？その違いが参集型の良さであると思います。
- ・オンデマンドでも実践等を聞けて勉強にはなると思うが、顔を実際に会わせて行う臨場感やいい意味でのプレッシ

ヤーなどは味わってみたいとわからないし、会って語ることで、その後の仕事へのモチベーションやフィードバックも大きいので、来年度は、参集型を取り入れて欲しいため。

### 3. 来年度の研修総会について、現在のあなたの考えに一番近いものを選択してください。

